KL-H50

取扱説明書

保証書付

J Z

準備編

おためし印刷編

ラベル作成編

デザインロゴ編

入力・編集編

設定編

付録

ご使用の前に本書の「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
本書はお読みになった後も、大切に保管してください。

CASIO®

RJA519410-001V01

ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願いいたします。

あらかじめご承知いただきたいこと

■本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点やお気付きの点などがありましたらカシオテクノ修理相談窓口までご連絡ください。
■本機使用や故障により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
■故障、修理、その他の理由に起因するメモリー内容の消失による、損害および逸失利益等につきまして、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
■本書の一部または全部を無断で複写することは禁止されています。個人としてご利用になる他は、著作権法上、当社に無断では使用できませんのでご注意ください。
■本書の内容は改良のため、将来予告なく変更することがあります。
■本文中の印刷例や表示画面などは、実物と多少異なる場合があります。ご了承ください。

当社では「廃棄物ゼロ」を実現するため、使用済みのテープカートリッジを回収/分解し、再資源化しております。
使用済みのテープカートリッジはお買い求めの販売店までお持ちください。

安全上のご注意

このたびは本機をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用になる前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。本書は、お読みになった後も、いつでも見られる場所に保管してください。

危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険がさし迫って生じることが想定される内容を示しています。
警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

⃠ 記号は「してはいけないこと」を意味しています（左の例は分解禁止）。

● 記号は「しなければならないこと」を意味しています。

⚠ 危険

アルカリ電池について

アルカリ電池からもれた液が目に入ったときは、すぐに次の処置を行ってください。

1. 目をこすらずにすぐにきれいな水で洗い流す。
2. ただちに医師の治療を受ける。

そのままにしておくと失明の原因となります。

⚠ 警告

煙、臭い、発熱などの異常について

煙が出ている、へんな臭いがする、発熱しているなどの異常状態のまま使用しないでください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。

1. 電源スイッチを切る。
2. ACアダプター使用時は、プラグをコンセントから抜く。
3. お買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口に連絡する。

ACアダプターについて

ACアダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となります。
次のことは必ずお守りください。

- 必ず本機専用の別売品を使用する
- 電源は、AC100V(50/60Hz)のコンセントを使用する

- 1つのコンセントにいくつもの電気製品をつなぐ、いわゆるタコ足配線をしない

警告

ACアダプターについて

電源コードは使いかたを誤ると、傷がついたり破損して、火災・感電の原因となります。
次のことは必ずお守りください。

- 重いものを乗せたり、加熱しない
- 加工したり、無理に曲げない
- ねじったり、引っ張ったりしない

- 電源コードやプラグが傷んだらお買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口に連絡する

ACアダプターについて

- 濡れた手で電源コードやプラグに触れないでください。
  感電の原因となります。
- AC アダプターは水のかからない状態で使用してください。水がかかると火災や感電の原因となります。
- AC アダプターの上に花瓶など液体の入ったものを置かないでください。水がかかると火災や感電の原因となります。

⚠ 警告

電池について

電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や､破裂による火災･けがの原因となります｡次のことは必ずお守りください｡

- 分解しない､ショートさせない
- 加熱しない､火の中に投入しない
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
- 種類の違う電池を混ぜて使用しない
- 充電しない

- 極性(＋と－の向き)に注意して正しく入れる

落とさない、ぶつけない

本機を落としたときなど、破損したまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。

1. 電源スイッチを切る。
2. ACアダプター使用時は、プラグをコンセントから抜く。
3. お買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口に連絡する。

分解・改造しない

本機を分解･改造しないでください｡感電･やけど･けがをする原因となります｡

内部の点検･調整･修理はお買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口にご依頼ください｡

⚠ 警告

水、異物はさける

水、液体、異物(金属片など)が本機内部に入ると、火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行ってください。

1. 電源スイッチを切る。
2. ACアダプター使用時は、プラグをコンセントから抜く。
3. お買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口に連絡する。

火中に投入しない

本機を火中に投入しないでください。破裂による火災・けがの原因となります。

袋をかぶらない、飲み込まない

本機が入っていた袋をかぶったり飲み込んだりしないでください。窒息の原因となります。
特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。

電子レンジでの加熱に使う容器にはラベルを貼らない

電子レンジでの加熱に使用する容器には、ラベルを貼らないでください。ラベルに使用している材質に金属が含まれているため、電子レンジで加熱すると発火や火傷の原因となります。
また、ラベルを貼ったものが変形することがあります。

⚠ 注意

ACアダプターについて

ACアダプターは使いかたを誤ると、火災・感電の原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。

- ストーブ等の熱器具に近づけない
- プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない（必ずACアダプター本体のプラグを持って抜く）

- プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
- 旅行などで長期間使用しないときはプラグをコンセントから抜く
- ご使用後は電源スイッチを切り、プラグをコンセントから抜く
- ACアダプターのプラグは年1回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分にほこりがたまらないように、乾いた布や掃除機で清掃する
- ACアダプター（特にプラグやジャック部分）の清掃には、洗剤を使用しない

電池について

電池は使いかたを誤ると液もれによる周囲の汚損や、破裂による火災・けがの原因となることがあります。次のことは必ずお守りください。

- 本機で指定されている電池以外は使用しない

- 長時間使用しないときは、本体から電池を取り出しておく

⚠ 注意

大切なデータは控えをとる

本機に記憶させた内容は、ノートに書くなどして本機とは別に必ず控えを残してください。本機の故障や修理などにより、記憶内容が消えることがあります。

重いものを置かない

本機の上に重いものを置かないでください。
バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

置き場所について

本機を次のような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

- 湿気やほこりの多い場所
- 調理台のそばなど油煙が当たるような場所
- 暖房器具の近く、ホットカーペットの上、直射日光が当たる場所、炎天下の車中など本機が高温になる場所

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や高い棚の上など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

⚠ 注意

乾電池のセットおよび乾電池交換時の注意

本機電池収納部内の電池バネには、鋭利な部分があります。「乾電池をセットするとき」や「乾電池を交換するとき」には、電池バネには触らないでください。指を切るおそれがあります。

表示画面について

- 液晶表示画面を強く押したり、強い衝撃を与えないでください。
  液晶表示画面のガラスが割れてけがの原因となることがあります。
- 液晶表示画面が割れた場合、表示画面内部の液体には絶対に触れないでください。
  皮膚の炎症の原因となることがあります。
- 万一、口に入った場合は、すぐにうがいをして医師に相談してください。
- 目に入ったり、皮膚に付着した場合は、清浄な流水で最低15分以上洗浄したあと、医師に相談してください。

高温注意

プリンターヘッドおよびまわりの金属部分には触らないでください。高温になるため、やけどするおそれがあります。

ご使用上の注意

本機を末ながくご愛用いただくために以下の点にご注意ください。

- 直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、静電気の発生しやすい場所、急激な温度変化がおこる場所、極端な高低温下での使用は避けてください。使用温度範囲は、10℃～35℃です。
- 10℃未満の低温下で使用すると、電池の特性上、電池容量が低下するため画面に「電池残り少」と表示されやすくなります。その場合は、本機を使用温度範囲(10℃～35℃)の環境に戻してからご使用ください。
- 強い衝撃や大きな力を加えないようにご注意ください。
- プリンター部分にクリップやピンなどを落とさないでください。
- テープを無理に引き出したり、押し込んだりしないでください。
- プリンターヘッドが汚れると、印字が不鮮明になります。この場合は、お手入れの方法（83ページ）をご覧になり、プリンターヘッドやゴムローラーをきれいにしてください。
- 本機を直射日光などの強い光が当たる場所で使用した場合、本機内部にある光センサーが誤動作を起こしエラーメッセージを表示することがあります。強い光が当たらない場所でお使いください。

JIS C 61000-3-2 適合品

本装置は、高調波電流規格「JIS C 61000-3-2」に適合しています。

テレビ・ラジオのそばでのご使用について

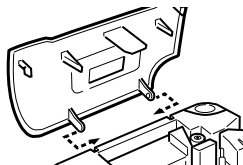
この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

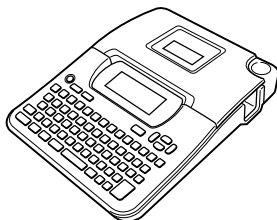
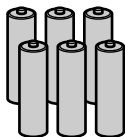
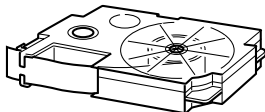
もくじ

各部の名前とはたらき

液晶表示画面
電源キー
電源を入／切するときに押します。
テープカットボタン
テープを切るときに押します。
操作キー
テープ出口
文字入力キー
カセットカバー

■カセットカバーが外れてしまったら

カセットカバーが外れてしまったときは、図のようにセットしてください。カバーを無理な方向に曲げたりねじったりすると、突起や穴が破損する恐れがありますのでご注意ください。

付属品を確認しましょう

KL-H50本体

単3形アルカリ乾電池
6本

お試し用テープカートリッジ

本書（保証書付）
別売品カタログ

本機の操作の流れ

乾電池のセット 16ページ
または別売のACアダプターの接続 81ページ

- **購入後、はじめて使うときはメモリーの初期化をしてください。（18ページ）**
- メモリーの初期化をすると本機に記憶したデータが消去されます。必要のないときはメモリーの初期化はしないでください。

テープカートリッジの取り付け 20ページ

自由に入力して作る
フリーラベル 35ページ
フリーラベルの編集機能 42ページ

用途に応じて作る
定型フォーマット
名前シール
デザインロゴ
36、40、53ページ

印刷する 29ページ

電源について

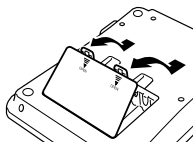
本機を使うときは、電源としてアルカリ乾電池または別売のACアダプターを使います。

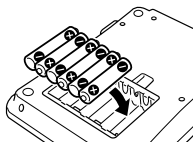
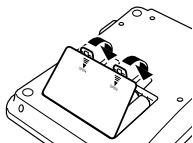
- ご使用前に「安全上のご注意」（1〜8ページ）を必ずご覧ください。
- 別売のACアダプターの接続のしかたは、81ページをご覧ください。

乾電池で使う

単3形アルカリ乾電池を6本使用します。（必ずアルカリ乾電池をご使用ください。）

1 本体裏側の乾電池カバーを取り外します。

乾電池カバーに無理な力（逆に曲げるなど）を加えないでください。故障の原因となります。

2 乾電池をセットします。

⊕と⊖の向きに注意してセットしてください。

3 乾電池カバーを取り付けます。

- 「電池残り少」と画面に表示されたときは、できるだけ早く新しい単3形アルカリ乾電池に交換することをおすすめします。
- 10℃未満の低温下で使用すると、電池の特性上、電池容量が低下するため、画面に「電池残り少」と表示されやすくなります。
  その場合は、本機を使用温度範囲（10℃〜35℃）の環境でご使用ください。
- 電源が入っているときや、電源を切った後も表示が画面から完全に消えるまでは、乾電池やACアダプターを取り外さないでください。一時的に保存された作成中の文章、本機に登録した文章、設定された内容が消去されてしまいます。
- 「電池からACアダプターに切り替えるとき」「ACアダプターから電池に切り替えるとき」は、必ず、一度電源を切ってからACアダプターの接続や電池のセットをしてください。電源を入れた状態で行うと、電源が切れて作成中の文章が消去される場合があります。

電池寿命について

標準印刷条件で、18mmテープカートリッジ約4巻分の印刷ができます。

- 黒い部分の多い文字を印刷したり、低温下で使用した場合、電池をセットしたまま長期間保管した場合は、電池寿命は短くなります。
- 本機をご使用にならない場合も、2年に1度は必ず乾電池を交換してください。

データの保持について

- 本機に登録しているデータ（文字や文章など）は、ノートなどに控えをとっておいてください。

付属の電池は、工場出荷時より微少な放電による消耗が始まっています。そのため、製品の使用開始時期によっては、所定の使用時間に満たないうちに寿命となることがあります。あらかじめご了承ください。

はじめて使うときは「メモリーの初期化」を！

ご購入後、本機をはじめて使うときは、必ず**メモリーの初期化**という操作をします。「メモリーの初期化」をしないと、正しく動かないことがあります。

重要 メモリーの初期化をすると、本機に記憶したデータが消えてしまいますので、必要のないときはメモリーの初期化をしないでください。

1 電源が切れていることを確認します。

画面に何か文字があるときなど電源が入っているときは、電源を押します。

2 印刷と空白をいっしょに押しながら、電源を押します。

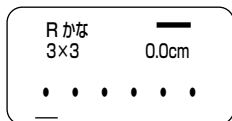
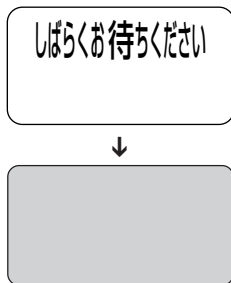
- 印刷、空白、電源を押していた指はほぼ同時に離します。
- 「メモリー初期化？」が表示されます。

3 実行を押します。

「しばらくお待ちください」と表示された後、文字入力画面が表示されて、本機が使用可能になります。

メモリーとは
本機内部にあり、作成した文章などを記憶する場所です。
「メモリーの初期化」とは
本機が正常な動作をするために、電気的な設定を行うことです。「メモリーの初期化」を行うと、画面に表示されている文章とメモリーに記憶されているデータは消えてしまいます。
また、いろいろな設定も製造時に定められた設定に戻ります。

電源を入れる・切る

いちど「メモリーの初期化」をしたら、次からは電源○を押すだけで本機が使えます。

• 画面の明るさを調整するときは、79ページをご覧ください。

オートパワーオフ(節電)機能について

何も操作をしないで、約6分間電源を入れたままにしておくと、電源は自動的に切れます。これを**オートパワーオフ機能**といいます。
ふたたび本機を使うときは、電源○を押してください。

メモリーの復帰について

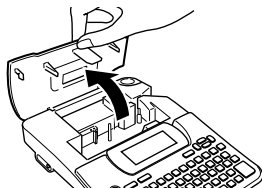
文書作成中に電源を切ったりオートパワーオフ機能がはたらいたときは、一時的にメモリーに保存されます。電源を入れて「[実行]で前回の文章が復帰します」と表示されたときは、(実行)を押すと、メモリーに保存されていた内容が画面に表示されます。
※定型フォーマット、名前シールで作成中の文章は復帰できません。

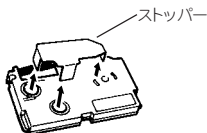
テープカートリッジを取り付ける/取り外す

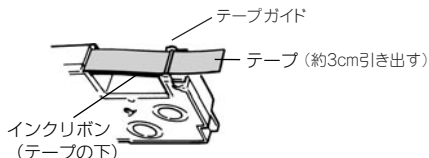
ラベルを印刷するときには、テープカートリッジが必要です。
付属品および別売のテープカートリッジをお使いください。（付属の別売品カタログ参照）

テープカートリッジを取り付ける

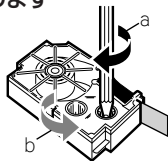
1 電源 ◯ を押して、電源を切ります。

2 カセットカバーの中央部分に指をかけて、カバーを開けます。

重要 カセットカバーの開閉時には、「可動範囲以上に動かそうとする」などの無理な力を加えないようにしてください。無理な力を加える と、故障や破損の原因となります。

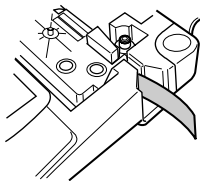
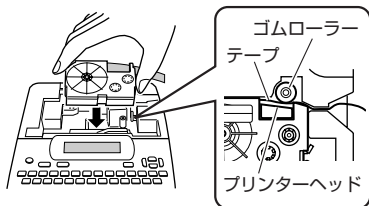
3 テープカートリッジについているストッパーを取り外します。

4 テープとインクリボンの状態を確認します。

- テープの先が曲がっていない（曲がっていたらハサミで曲がった部分をカットする）
- テープの先がテープガイドを通っている
- インクリボンがたるんでいない

- 一度引き出したテープを戻すことはできません。
- 無理に引き出さないでください。インクリボンが切れるなど、故障の原因になります。
- インクリボンがたるんだままテープカートリッジをセットすると、インクリボンが切れるなど、故障の原因になります。

インクリボンがたるんでいたら、たるみをとります

インクリボンがたるんでいたら、aのように、右上の軸をえんぴつなどで矢印方向に回します。bの方向に左下の軸が回りはじめるまで右上の軸を回してください。
このとき、テープはいっしょに動きません。

5 テープカートリッジをセットします。

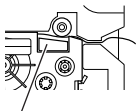
インクリボンが引っかからないように注意しながら、テープとインクリボンがプリンターヘッドとゴムローラーの間を通るように取り付けます(下図)。テープカートリッジはカチッと音がするまで奥に押し込んでください。

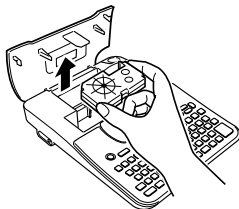
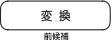
重要 **正しくセットしないと、リボン切れの原因となります。**

6 カセットカバーを閉めます。

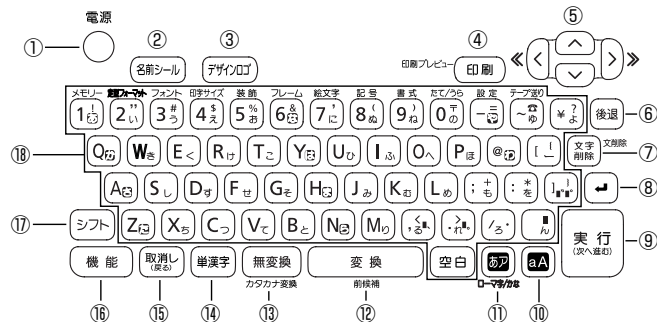
- カセットカバーは、しっかりと閉めてください。
- テープカートリッジをセットしたら、テープを引き出したり押し込んだりしないでください。

テープカートリッジを取り外す

1 20ページの手順1～2と同様な操作で、カセットカバーを開けます。

印刷中や印刷直後は、プリンターヘッドが熱くなるため、十分に時間をおいてから、テープカ ートリッジを取り外してください。

プリンターヘッド

2 テープカートリッジの左右に指を入れて、まっすぐ上に引き抜きます。

キーのはたらき

ここではキーの主な使いかたについて説明します。

①	電源	電源を入／切するときに押す。
②	名前シール	名前シールを作成するときに押す。(40ページ)
③	デザインロゴ	デザインロゴを印刷するときに押す。(53ページ)
④	印刷プレビュー 印刷	•印刷するときに押す。 •印刷結果を画面で見るときは(機能)を押し、指を離してからこのキーを押す。
⑤	《〈 ∧ ∨ 〉》	•文字が入る位置を示した＿(カーソル)を動かすときに押す。 •項目などを選択するときに押す。
⑥	後退	カーソルの前の文字を消すときに押す。
⑦	文字削除 文削除	•カーソルの上の文字を消すときに押す。 •入力中の項目の文章をすべて消すときは、(機能)を押し、指を離してからこのキーを押す。

⑧	(↵)	改行するときに押す。
⑨	実行（次へ進む）	操作を進めるときに押す。
⑩	aA	アルファベットの小文字と大文字を使い分けるときに押す。(57ページ)
⑪	あア ローマ字/かな	•ひらがなとカタカナを使い分けるときに押す。(57ページ) •ローマ字入力とかな入力を切り換えるときは、(機能)を押し、指を離してからこのキーを押す。
⑫	変換 前候補	•ひらがなを漢字などに変換するときに押す。 •1つ前の変換に戻るとき(前候補)は、(機能)を押し、指を離してからこのキーを押す。
⑬	無変換 カタカナ変換	•漢字に変換しないでひらがなのまま確定するときに押す。 •入力中のひらがなをカタカナに変換するときは、(機能)を押し、指を離してからこのキーを押す。
⑭	単漢字	1文字ずつ漢字に変換するときに押す。
⑮	取消し（戻る）	操作を戻したり、中止したりするときに押す。
⑯	機能	キーの上下または横に(機能)と同じ色で書かれている機能を使いたいときは、まずこのキーを押す。
⑰	シフト	アルファベットを入力しているとき、1文字だけ大文字(または小文字)を入れる場合に押す。(65ページ)
⑱	(文字キー)	文字を入れるときに押す。

(機能)と(シフト)の操作には、以下の2つの方法があります。

1. (機能)((シフト))を押し、指を離してから目的のキーを押す。
2. (機能)((シフト))を押しながら目的のキーを押す。

• 本書の操作説明は、「(機能)((シフト))を押し、指を離してから目的のキーを押す」で記載しています。

キーの表記について

●本文中では、操作手順の中で使うキー(ボタン)を[1あ]や[実行]などのように表記しています。

例 [1あ]を押したあとに続けて[実行]を押すときの表記

↓

[1あ][実行]と押します。

●本機のキーの上下または横に[機能]と同じ色で書かれている機能(「装飾」や「カタカナ変換」など)を使うには、[機能]を押し、指を離してから[機能]と同じ色で書かれている機能名のキーを押します。

例 「装飾」機能を使うときの表記

↓

[機能]を押し、指を離してから[5%お](装飾)を押します。

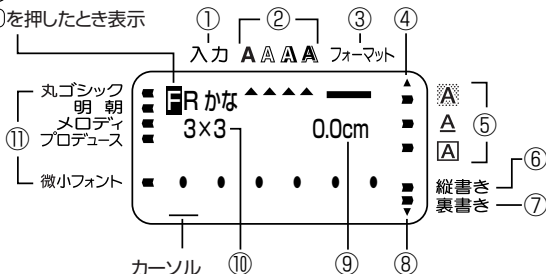
●操作手順の中で、「△▽◁▷を押して…」「△▽を押して…」「◁▷を押して…」と表記されているときは、そのキーのどれかを何回か押してください。4つまたは2つのキーすべてを押す必要はありません。

●1つ前の画面に戻りたいときや、操作をやり直したいときは[取消し]を押します。

●[取消し]を何回押しても希望の画面に戻らないときは、○(電源)を押して一度電源を切ります。○(電源)を押して再び電源を入れて、はじめから操作をやり直してください。

画面の見かた

本機の画面には、いろいろなマークが出てきます。ここではそのマークの意味やはたらきについて説明します。

- 画面の明るさを変えるときは、79ページをご覧ください。

①	入力できる文字の種類を示す。(57ページ)
②	文字体が何になっているか示す。(76ページ)
③	フリーラベルを選択したときのレイアウトを示す。(35ページ)
④	いま見えている画面より上にも文字などがあることを示す。
⑤	文字装飾が何になっているか示す。(77ページ)
⑥	縦書きになっていることを示す。(43ページ)
⑦	裏書きになっていることを示す。(44ページ)
⑧	いま見えている画面より下にも文字などがあることを示す。
⑨	いま作っているラベルの長さを示す。
⑩	文字のサイズを示す。(47ページ)
⑪	書体(フォント)が何になっているかを示す。(73ページ)

まずは作ってみましょう

準備ができたら、試しに「ラベルの印刷」をしてみましょう。

ラベルを印刷する

［印刷例］

パパ冬物

1 電源○を押して、電源を入れます。

R かな
3×3 0.0cm
• • • • • •

2 **文字を入力します。**
ここでは「パパ冬物」と入力します。

- 文字の入力方法については、32ページをご覧ください。
- ラベルの長さの表示は一応の目安です。ご使用する環境や印刷する内容によって、実際のできあがりの長さとは完全には一致しません。

R かな
3×3 7.9cm
パパ冬物・・

■印刷する

作成したラベルは簡単に印刷できます。

重要 印刷する前に、「テープカートリッジがセットされていること」、「テープ出口（12ページ）が物でふさがっていないこと」を確認してください。

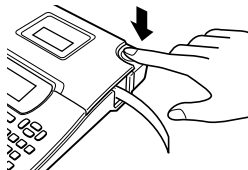
1 印刷プレビュー（印刷）**を押します。**

印刷が始まります。

- 印刷を途中でやめるときは、（取消し）を押します。
- 印刷時の注意事項（33ページ）を必ずお読みください。

テープをカットする

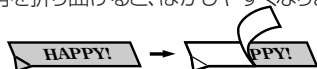
1 テープカットボタンを押して、テープをカットします。

- テープを切るときは、本機をかたむけないでください。
- テープカットボタンを必要以上に強く押さないでください。

重要 印刷がすべて終わったことを確かめてから、テープをカットしてください。印刷中にテープカットボタンを押すと、テープがつまったり、本機が壊れたりすることがあります。

ラベルを貼る

1 必要に応じて、ハサミなどで好きな大きさ・かたちにします。

2 ラベルの裏をはがして、貼ります。

ラベルの角を折り曲げると、はがしやすくなります。

- 一度貼ったラベルをはがすと、貼っていた場所にテープのノリが残ることがあります。

次のようなものや場所にラベルを貼らないでください。

- 直射日光や雨があたるもの
- 人や動物のからだ
- 他人の家のへいや電柱など
- 公園・駅など、公共の場所
- 電子レンジで加熱に使う容器

ラベルが貼りにくいものは

- 表面がざらざらしているところ
- 表面に水や油、ホコリなどがついているところ
- 特殊なプラスチック材料（シリコン系・PP材など）

テープを空送りする

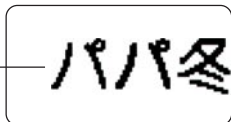
印刷を途中で取り消したときなどに、途中まで印刷されたテープを白紙で送ることができます（テープ送り）。

1 **(機能)を押し、指を離してから(テープ送り ~☎ゆ)を押します。**
テープが約20mm送られます。

印刷結果を画面で確認する

印刷する前に、印刷結果を画面で確認することができます。テープカートリッジをセットしていないと、印刷結果を画面で確認することはできません。

1 **(機能)を押し、指を離してから(印刷プレビュー 印刷)を押します。**

どのように印刷されるのか、そのイメージが画面に流れます

2 **じっくりと見たい部分が流れてきたら、(実行)を押します。**
その部分が止まります。

(実行)を押すと、再びプレビュー画面が流れます。

- プレビュー表示を中止するときは(取消し)を押します。
- 次の場合は正しくプレビュー表示されないことがあります。
  細い線のある文字や字画の多い漢字
  幅の狭いテープをセットしているとき
  ラベルが2行以上のとき
  ラベルに装飾（文字体、文字修飾）をつけたとき

文字の入力について

ローマ字入力、またはかな入力を選ぶことができます。
ここでは、ローマ字入力を選びます。(56ページ)

■「パパ」を入力します。

① あア を何回か押して、画面左上に「**Rカナ**」を表示させます。

② P A P A

■「冬物」を入力します。

① あア を何回か押して、画面左上に「**Rかな**」を表示させます。

② F U Y U M O N O

③ 変換 を何回か押して、「冬物」が画面に表示されたら 実行 を押します。

- 誤った文字を入力したときは、文字削除 (70ページ)または 後退 (70ページ)を押して、文字を消してから、正しい文字を入力してください。
- **文字入力方法について、詳しくは「入力・編集編」(55ページ)をご覧ください。**

印刷時の注意事項

印刷するときには以下の点に注意してください。

- 印刷中に、絶対に電源を切らないでください。
- 印刷中に、本体のカセットカバーまたは乾電池カバーは絶対に開けないでください。
- 印刷中に出てきたテープは、印刷が終了するまでさわらないでください。
- 印刷の途中でテープがなくならないように十分残量のあるテープカートリッジをご使用ください。印刷の途中でテープがなくなったときは、(取消し)を押して印刷を中止してください。
- テープ出口のまわりに、テープがたまらないようにしてください。テープがテープ出口をふさいでしまうと、テープがつまったり、故障の原因になります。

反射テープ、アイロン布テープについて

反射テープ、アイロン布テープは特殊な処理をしてあるテープです。カットするときは、下記の手順にしたがってハサミなどをお使いください(アイロン布テープは、必ず、布などを切る裁ちばさみをお使いください)。

なお、本機で反射テープ、アイロン布テープをカットすると、カッター部分の寿命が短くなることがあります。ご注意ください。

1 印刷する

2 (機能)を押し、指を離してから(テープ送り ~ ☎ ゆ)を押して、テープ送りをする

3 反射テープ、アイロン布テープを取り出し、ハサミなどを使ってカットする

※ご使用後は、必ず本機から取り出して保管してください。

ラベル作成編

ラベル作成の流れ

ラベルを印刷するときは、以下の手順で行います。
• 本機を使用するための準備の流れについては、15ページをご覧ください。

操作の流れ

1 ラベルの種類を選ぶ
フリーラベル 35ページ
定型フォーマット 36ページ
名前シール 40ページ

登録してあるデータを呼び出して使うときは（51ページ）

前回作成したデータを使うときは（19ページ）

▼

2 文字を入力する（55ページ）

▼

3 文字を修飾する
書体（フォント）を変える（73ページ）、文字を目立たせる（装飾）（76ページ）

▼

ラベルを印刷（29ページ）・登録（51ページ）する

※定型フォーマット、名前シールは登録できません。

自由に入力して作る(フリーラベル)

ここでは自由に入力してラベルを作る(フリーラベル)方法について説明します。

フリーラベルを作る

フリーラベルの作り方については、28ページを参照してください。

操作を簡単に説明すると、以下のようになります。

1 電源を押して、電源を入れます。

2 「[実行]で前回の文章が復帰します」と表示された場合は、実行を押すと、メモリーに保存されていた内容が画面に表示されます(19ページ)。

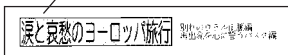
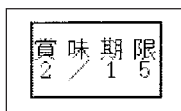
3 自由に文字を入力します。

- フリーラベルを編集するときは→42ページ

フォーマットを選んで作る(定型フォーマット)

本機には、豊富なラベルのフォーマットが内蔵されており、用途に応じたラベルが簡単に作れます。

※ここで紹介するラベルは、本機で作成できるラベルの一例です。

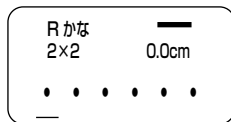
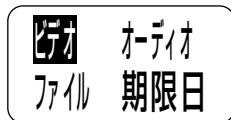
定型フォーマット

• ビデオラベル･オーディオラベル･ファイルラベル･期限日ラベルがあります。用途に応じて選択してください。

[印刷例]

(9mm幅テープ/ビデオ/VHS/3)

重要 99ページをご覧になりフォーマットに適した幅のテープカートリッジをセットしてください。

1 電源 ◯ **を押して、電源を入れます。**

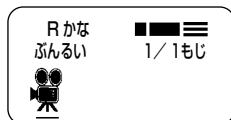
R かな
2×2 0.0cm

2 (機能) **を押し、指を離してから** (定型フォーマット 2) **を押します。**

3 ⋀⋁<> **を押して作成するラベルの種類を選び、**(実行) **を押します。**
ここでは「ビデオ」を選びます。

4 <> **を押して、「ビデオ」ラベルの種類を選び、**(実行) **を押します。**
ここでは「VHS」を選びます。

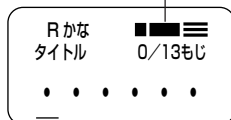
5 ◁▷を押してフォーマットを選びます。

詳しくは「定型フォーマット一覧」（99ページ）をご覧ください。
ここでは▷を2回押します。

6 （実行）を押します。

絵文字が表示されます。

7 画面の絵文字を必要に応じて変更し、（実行）を押します。

- 選んだフォーマットの種類や項目によって、絵文字が入力されていたり、入力されていなかったりします。
- 他の絵文字に変えるときは、69ページをご覧ください。

作っているラベルのレイアウト（イメージャー表示）
※ 現在入力中の項目が点滅します。

8 文字を入力し、（実行）を押します。

ここでは3つの項目を入力します。

- フリーラベルと同様に、文字体（太字、白抜、影付、立体）を選択することができます。フォーマットによっては、枠付を選択することができます。

これでラベルデータが完成しました。

9 ⊲⊳を押して印刷を選び、(実行)を押すと、印刷が開始されます。

重要

- 印刷をするときは、33ページの注意事項をご覧ください。
- 「期限日」のフォーマットで作成したラベルは、電子レンジやオーブンで使用する物には貼らないでください。ラベルに使用している材質に金属が含まれているため、電子レンジやオーブンで加熱すると発火や火傷の原因となります。ラベルを貼った物を電子レンジやオーブンで使用する場合は必ずラベルをはがしてください。

印刷の方向などを設定したい

文字の入力中に、お好みで印刷の方向などを設定することができます。

- 印刷方向を縦書きや横書きに設定する
- 表裏が逆さまなラベルを印刷する

設定方法については、43、44ページをご覧ください。

名前シールを作る

小物用やノート用などの名前シールを作ることができます。

[印刷例]

(9mm幅テープ/ノート大/フレーム付き)

102ページをご覧になりフォーマットに適した幅のテープカートリッジをセットしてください。3.5mm/6mmのテープカートリッジは使用できません。

1 **電源を押して、電源を入れます。**

2 **(名前シール)を押します。**

3 **⋀⋁<>を押して作成するラベルの種類を選び、(実行)を押します。**

ここでは「ノート大」を選びます。

4 **<>を押してフォーマットを選びます。**

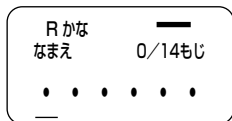
詳しくは「名前シールフォーマット一覧」(102ページ)をご覧ください。

ここでは>を2回押します。

5 (実行)を押します。

フレームの選択画面が表示されます。

6 (△)(▽)(◁)(▷)を押してフレームを選び、(実行)を押します。

- 選んだフォーマットの種類によっては、絵文字を入れることもできます。

7 38〜39ページの手順8〜9と同様な操作で、文字の入力と印刷をします。

- 「小物用」のフォーマットで作成したシールは、名前に沿ってハサミで切り離してご使用ください。「ノート大」「ノート小」「住所」のフォーマットでは、「テープながさ」の表示が | 8.0cm |のように表示されます。この場合、作成したラベルの先頭の約17mmの余白をハサミでカットすると、左右のバランスが良くなり、表示された長さになります。
- 「えんぴつ巻き」のフォーマットで作成したシールは、えんぴつの太さに合わせて余白をハサミで数mmカットするときれいに巻くことができます。

2行以上のラベルを作る

2行以上の文章を含むラベルを作ることができます。
作れる行数は、セットしてあるテープの幅によって違います。

重要 3.5mm幅テープでは、2行以上のラベルは作れません。

テープの幅	最大行数
3.5mm	1行
6mm	2行

テープの幅	最大行数
9/12/18/24mm	3行

- テープの幅と行数に合わせて、自動的に文字の大きさは変わります。
  (ジャストフィット印刷)
- 文字の大きさを自由に決めた場合(47ページ)も、文字の大きさは行数に合わせて自動的に変わります。

[印刷例]
(12mm幅テープ)

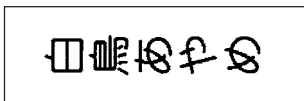
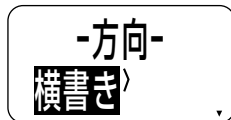
1 1行目の入力が終わったら、[↵]を押した後2行目を入力します。

- 文字を全部入力した後に、行を変えることもできます。行を変えたい位置で、[↵]を押します。
- 改行を取り消すときは、[文字削除]を押してマークを削除します。
- ラベルデータを印刷するときは→29ページ
- ラベルデータを登録するときは→51ページ

縦書きのラベルを作る

ラベルは、通常は、横書きで印刷されますが、縦書きで印刷することもできます。

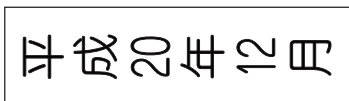
重要 縦書きと横書きがまざったラベルを作ることはできません。

[印刷例]

1 **文字を入力した後、(機能)を押し、指を離してから(0 たて/うら)を押します。**

2 **(<)(>)を押して縦書きを選び、(実行)を2回押します。**

印刷すると、縦書きのラベルになります。

- 「横書き」に戻すときは、手順**2**のときに、「横書き」を選びます。

■「平成20年12月」などのラベルの作り方

[印刷例]

「20」や「12」などは、記号一覧(95ページ)の記号を使用すると、簡単に上の例のようなラベルを作ることができます。記号の入力方法については、68ページをご覧ください。

裏表が逆さまなラベルを作る

透明ガラスの裏側に透明テープを貼るときや、別売の布転写テープを使ってハンカチやTシャツなどに転写するときは、裏表が逆さまなラベルを作ります。

ラベル全体が裏表逆さまな文字になります。

[印刷例]

1 **文字を入力した後、(機能)を押し、指を離してから(たて/うら 0)を押します。**

-方向-
横書き〉

2 **(▽)を押します。**
裏書きの設定画面が表示されます。

-裏書き-
しない〉

3 **(◁)(▷)を押して、するを選び、(実行)を押します。**
印刷すると、裏表が逆さまなラベルになります。

- 縦書きで、裏表が逆さまのラベルを作るときは、手順**1**で(▷)を1回押して、縦書きを選びます。

文章のバランスを整える(割付)

2行以上の文章のバランスを整えることができます。

重要

- 1行の文章のときは、割付の設定は無効です。
- 定型フォーマット、名前シールでは割付の設定はできません。

2行以上の文章のときは、次のように文字数の少ない方が割付の対象になります。

左寄せ	中寄せ	右寄せ	均等
最新 町内連絡網	最新 町内連絡網	最新 町内連絡網	最　　新 町内連絡網

1 **文字を入力した後、(機能)を押し、指を離してから(書式 9)を押します。**

文字割付の設定画面が表示されます。

-文字割付-
左寄せ〉

2 **◁▷を押して、希望の割付の種類を表示させます。**
◁▷を押すたびに、均等 中寄せ 右寄せ 左寄せ と割付の種類が変わります。

3 **(実行)を2回押します。**

印刷すると、割付されたラベルになります。

文字と文字の間隔を整える（文字間隔）

文字の間隔のバランスを整えることができます。

重要 定型フォーマット、名前シールでは文字間隔の設定はできません。

普通（文字間1mm）	江藤まこと
広い（文字間2mm）	江 藤 ま こ と
密着（文字間無し）	江藤まこと

1 **文字を入力した後、［機能］を押し、指を離してから［書式 9 ね］を押します。**

2 **［∨］を押します。**
文字間隔の設定画面が表示されます。

-文字間隔-
普通

3 **［＜］［＞］を押して、希望の文字間隔の種類を表示させます。**
［＜］［＞］を押すたびに、広い 密着 普通 と文字間隔の種類が変わります。

4 **［実行］を押します。**
印刷すると、文字間隔が調整されたラベルになります。

文字の大きさを決める

ラベルを作ると、最適な文字サイズで印刷されます。これは、セットされているテープの幅と文章の行数に合わせて、最適な文字サイズを自動的に設定しているためです(**ジャストフィット印刷**)。
ここではジャストフィット印刷ではなく、自由に文字の大きさを決める方法を説明します。

文字単位で「1×1」〜「4×4」倍まで自由に文字サイズを選択できます。テープの幅によって、印刷できる文字サイズの最大値(縦方向)は異なります(テープ幅と行数・倍率一覧 94ページ)。

1×1 禁煙　2×3 禁煙　4×4 禁煙

- 縦書きと横書きとでは、印刷結果が異なる場合があります。たとえば、1×2と指定すると、横書きでは横長に、縦書きでは縦長に印刷されます(上の印刷例はすべて横書きで作成しています)。

1×2(横書き) 終日禁煙　1×2(縦書き) 終日禁煙

[例]　「禁煙」を1×3にする

1 文字を入力した後、(機能)を押し、指を離してから(4 $ え)(印字サイズ)を押します。
ジャストフィット印刷のサイズが表示されます。

縦　横
3×3 倍

2 **「1～4」の数字を直接入力して、文字サイズを指定します。**
ここでは、[1][3]と押します。

- 文字サイズの指定は⋀⋁＜＞でも行うことができます。

縦 横
1 X 3 倍

3 **（実行）を押します。**
範囲の指定画面が表示されます。

どこから？
禁煙＿・・・・

4 **＜＞を押して、指定する範囲の先頭（ここでは「禁」）にカーソルを移動して、（実行）を押します。**
範囲の終点を指定する画面が表示されます。

どこまで？
禁煙・・・・

5 **＜＞を押して、指定する範囲の最後にカーソルを移動して、（実行）を押します。**

微小フォントについて

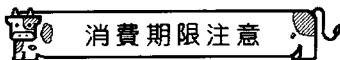
●行数（入力した行数または選んだフォーマットの行数）と、テープ幅によって、「微小フォント」となります（94ページ）。
●微小フォントには、次のような特徴があります。
- フォントの設定は、無効です（すべて同じフォントで印刷されます）。
- 文字体または文字修飾を設定すると、きれいに印刷できないことがあります。
- 絵文字は、きれいに印刷できないことがあります。

●微小フォントに設定されているときは、画面左下に「微小フォント」の■が点灯します。

フレームをつける

フリーラベルの文章にいろいろなフレームをつけることができます。
フレームの一覧は98ページをご覧ください。

重要 3.5mm幅テープにフレームをつけることはできません。

[印刷例]

(9mm幅テープ)

1 文字を入力します。

2 [機能]を押し、指を離してから[6 フレーム]を押します。

3 △▽◁▷を押して、フレームの分類を選び、[実行]を押します。
ここでは イラスト を選びます。

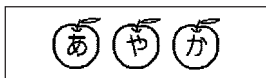
4 △▽◁▷を押して使うフレームを選び、[実行]を押します。
ここでは [フレーム] を選びます。

5 ◁▷を押して印刷を選び、[実行]を押します。
印刷が開始されます。
・「文字修飾」の指定は無効になります。

印刷するときは、33ページの注意事項をご覧ください。

■文字単位でフレームをつける

重要 **3.5mm/6mm幅テープでは文字単位のフレームをつけることはできません。**

[印刷例]

1 **49ページの手順3で文字を選び、(実行)を押します。**

2 **⊘⊘⊘⊘を押して使うフレームを選び、(実行)を押します。**
ここでは[りんご]を選びます。

3 **⊘⊘を押して印刷を選び、(実行)を押します。**
印刷が開始されます。

- 文字単位のフレームでは印刷できる行数は1行のみです。
- 「文字修飾」の指定は無効になります。
- 文字の大きさの設定は無効になり、9/12mmテープでは常に1×1倍となり、18/24mmテープでは常に2×2倍となります。

フレーム印刷できる行数

テープ幅によって、フレーム印刷できる行数は異なります。
※文字単位のフレームでは印刷できる行数は1行のみです。

	24/18/12mm幅	9mm幅	6mm幅
フレーム印刷できる行数	3行以内	2行以内	1行

作成したデータを登録する・呼び出す

作成したデータをメモリーに記憶させておくことができます。記憶させることを**登録**といいます。
登録しておけば、いつでも呼び出して印刷したり、また内容を修正して違うデータを作ることができます。
本機では、4件までデータを登録することができます。

データを登録する

1 **文字を入力した状態で、(機能)を押し、指を離してから(1 メモリー)を押します。**

登録　呼出
削除

2 **⋀⋁＜＞を押して登録を選び、(実行)を押します。**

3 **登録名を入力し、(実行)を押します。**
登録名は5文字まで入力できます。

どこへ登録?
1（未登録）

4 **⋀⋁を押して登録する場所（1～4）を選び、(実行)を2回押します。**
「しばらくお待ちください」に続いて「登録しました」と表示され、最初の画面に戻ります。

- すでに登録されている場所に上書きで登録しようとすると、「上書きしますか?」と表示されます。上書きで登録すると前の登録データは失われます。
- 定型フォーマット、名前シールは登録できません。

登録したデータを呼び出す

登録したデータは、「データを登録する」の**1**の画面から呼び出します。

1 **⌃⌄＜＞を押して呼出を選び、(実行)を押します。**

登録名が表示されます。

2 **⌃⌄を押して呼び出したいデータの登録名を探し、(実行)を2回押します。**

データが呼び出されます。
必要に応じて、修正・印刷してください。

登録したデータを削除する

登録したデータは、「データを登録する」の1の画面から削除することができます。

1 **⌃⌄＜＞を押して削除を選び、(実行)を押します。**

登録名が表示されます。

2 **⌃⌄を押して削除したいデータの登録名を探し、(実行)を押します。**

「削除しますか?」と表示されます。

3 **(実行)を押します。**

- 「しばらくお待ちください」に続いて「削除しました」と表示され、他に登録データがあるときは、その登録名が表示されます。
  引き続き、削除することができます。
- データ削除の操作をやめるときは(取消し)を押します。

デザインロゴ編

ロゴ入りのラベルを印刷する(デザインロゴ)

家の中や、家の周りなどでよく使う表現を選ぶだけで、イラストや文字の入ったアテンション効果に優れたラベルを作ることができます。

[印刷例]

きれいに使(つか)おう!

- デザインロゴは、「よびかけ・部屋」「防犯・注意」「分別・回覧」「収納・くつ箱」「タイトル・アルバム」「書類・郵便」の6つの分類に分かれています。詳細はデザインロゴ一覧(104ページ)をご覧ください。
- デザインロゴを印刷できるのは、12/18/24mm幅のテープです。

デザインロゴを印刷する

1 電源を押して、電源を入れます。

2 デザインロゴを押します。

-ロゴ分類-
よびかけ・部屋〉

3 ＜＞を押して分類を選び、実行を押します。

ここでは、「よびかけ・部屋」を選びます。

せっけんであらおう
きれいに使おう!

4 ⌃⌄を押して、ロゴデータを選びます。

ここでは、「きれいに使おう!」を選びます。

- (機能)を押し、指を離してから印刷プレビュー(印刷)を押すと、選択しているロゴのデザインを確認することができます(プレビュー表示)。プレビュー表示について、詳しくは、31ページをご覧ください。

5 (実行)を押します。

印刷サイズ 中〉
裏書き　しない

6 ＜＞を押して印刷するサイズを選びます。

- 「裏書き」にしたいときは、⌄を押して、＜＞で**する**を選びます。

7 (実行)を押します。

8 ＜＞を押して**印刷**を選び、(実行)を押します。

印刷が開始されます。

重要 サイズを「小」にした場合、「テープながさ」の表示が | 4.2cm| のように表示されます。この場合、作成したラベルの先頭の約17mmの余白をハサミでカットすると、左右のバランスが良くなり、表示された長さになります。

・デザインロゴの印刷時の大きさ

(サイズはいずれも縦×横で記載)

	24mm／18mm幅			12mm幅			9mm幅以下
	倍率(%)		データの大きさ	倍率(%)		データの大きさ	
	縦	横		縦	横		
小	120	90	12 ×41mm	100	80	10 ×36mm	(不可)
中	120	120	12 ×54mm	100	100	10 ×45mm	(不可)
大	120	150	12 ×68mm	100	120	10 ×54mm	(不可)

入力・編集編

文字の入力や編集についての基本的な説明をします。また、フォント、装飾の指定についても説明しています。

カーソルのはたらきと動かしかた

画面上で点滅している＿を**カーソル**といいます。
カーソルとは、文字を入れる位置を示した目印のことです。

文字キーを押すと、カーソルの位置に文字が入ります。

ⓛ	左にカーソルが移動する	ⓡ	右にカーソルが移動する
(機能)を押し、指を離してから<<ⓛを押す	文章の先頭にカーソルが移動する	(機能)を押し、指を離してからⓡ>>を押す	文章の最後にカーソルが移動する

スクロールとは
画面にかくれている文字を見るためには、ⓛⓡを押して、かくれている部分にカーソルを動かします。これを**スクロール**といいます。
（ⓛⓡを押した方向に文字がないときは、カーソルは動きません。）

ローマ字入力?それともかな入力?

キーを押して文字を画面にあらわすことを、**入力**といいます。
文字を入力する方法には、ローマ字入力とかな入力があります。

- ローマ字入力とは…
  アルファベットを使ったローマ字よみでひらがななどを入力する方法です。
- かな入力とは…
  直接ひらがななどを入力する方法です。

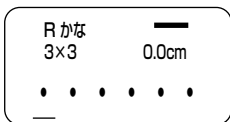
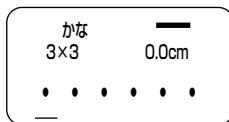
購入後はじめて使うときや、メモリーの初期化をした後では、ローマ字入力の状態になっています。

ローマ字入力とかな入力を切り替える

(機能)を押し、指を離してから(あア ローマ字/かな)を押します。

ローマ字入力を示します

R かな
3×3 0.0cm

↔

かな入力を示します

- 「ab」「AB」が画面左上に表示されているときは、まず(あア ローマ字/かな)を押して、「Rかな」または「かな」を表示させます。

「設定」で切り替えるには

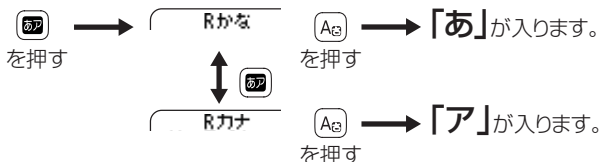
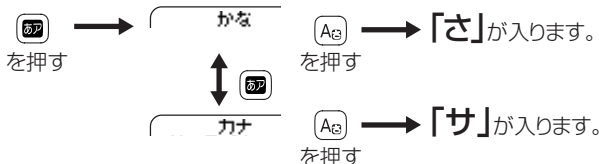
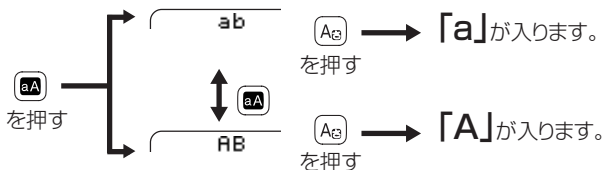
1. (機能)を押し、指を離してから(設定)を押します。
2. (∧)(∨)(∧)(∨)を押して「入力」を選び、(実行)を押します。
3. (∨)を押して「ローマ字入力」と「かな入力」の設定画面にします。
4. (<)(>)を押して「かな入力」または「ローマ字入力」を選び、(実行)を押します。

入力する文字の切り替え方法

文字キーは、1つで数種類の文字が入力できるようになっています。[あア]や[aA]を押して、ひらがな・カタカナ・アルファベット・記号が入力できるように、切り換えます。

ここでは[Aを]を例にとって、説明します。

ひらがな・カタカナの入力

■ローマ字入力の場合

■かな入力の場合

アルファベット(大文字・小文字)の入力

ひらがな・カタカナの入力

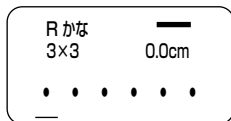
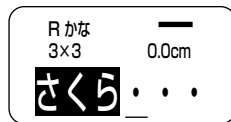
ここではローマ字入力で説明します。

ひらがなの入力

［例］　さくら

1 **[あア]を何回か押して、画面左上に「Rかな」を表示させます。**

- かな入力のときは、「かな」を表示させます（57ページ）。

2 **[S し][A ち][K の][U な][R す][A ち]と押します。**

- かな入力のときは…
  [A ち][E い][N み]

3 **[無変換 カタカナ変換]を押します。**

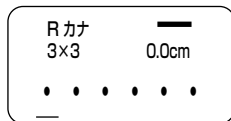
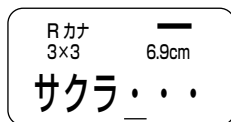
「無変換」とは、漢字に変換しないでひらがなのまま確定するという意味です。

カタカナの入力

［例］　サクラ

1 [あア]を何回か押して、画面左上に「Rカナ」を表示させます。

R カナ
3×3　　0.0cm

2 [S し][A さ][K む][U ひ][R け][A さ]と押します。

- かな入力のときは…
  [A さ][E く][N ら]

カタカナを入力すると、そのまま確定されます。

ひらがなで文字を入力して、カタカナに変換する（カタカナ変換）

例　サクラ

①ひらがなで「さくら」と入力します。

②さくらとなっているときに、[機能]を押し、指を離してから[無変換 カタカナ変換]を押します。

さくらが「サクラ」に確定されます。

いろいろな文字の入力方法

	例	ローマ字入力	かな入力
促音	いった	I T T A	2 シフト C Z
拗音	きょう	K Y O U	W シフト ¥ 3
濁音	ぼく	B O K U	P ゛ E
半濁音	ぱぱ	P A P A	Y ゜ ゜ Y ゜ ゜
句点	。	。	シフト 。
読点	、	、	シフト 、
長音	ー	ー	ー
中黒	・	シフト ・	シフト ・
を		W O	を
ん		N N	ん
空白		空白	空白
ヴ		「Rカナ」表示のときに V U	「カナ」表示のときに 3 ゛
ヵ		X K A または K シフト A	シフト Q
ヶ		X K E または K シフト E	シフト R

ローマ字よみの詳細については、「ローマ字入力一覧」(92ページ)を参照してください。

＊ローマ字入力のときはシフトと組み合わせて文字キーを押すと小文字(拗音)になりますが、**やゆよあいう** など拗音にすることができる文字に限ります。(小文字の入力については93ページを参照してください。)

漢字の入力

漢字を入力するには、まずその漢字の「よみ」をひらがなで入力します（例：「花」→「はな」）。
ひらがなから漢字に変えることを**変換**といいます。使いたい漢字が表示されたら、(実行)を押して、ほかの文字に変わらないように**確定**します。

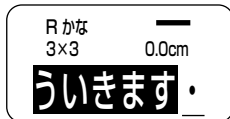
ひらがなから漢字に変換する方法は、次のとおりです。

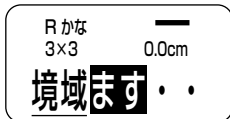
- **文章を入力してから変換する**
- **漢字1文字分ずつ変換する（当て字や難しい固有名詞などの変換）**

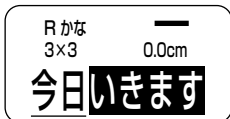
文章を入力してから変換する

文章を入力してから、まとめて漢字に変換します。
まとめて変換できる文字数は、32文字までです。

［例］　今日行きます

1 **「きょういきます」をひらがなで入力します。**

2 **(変換)を押します。**
「きょういき」と「ます」という2つの言葉と認識されたため、「境域」と変換されます。

R かな
3×3　0.0cm
境域ます

「境域」に下線がついています

3 **◁を2回押します。**
「きょういき」を「きょう」という言葉に区切るためです。

「今日」に変換されます

4 (実行)を押します。

「今日」が確定されます。

「いき」と「ます」という2つの言葉が残ったと認識されたため、「いき」が「意気」に変換されます。

5 ⊳を2回押します。

「いき・ます」を「いきます」という言葉にするためです。

R かな
3×3 5.9cm
今日意気ます

6 (変換)を何回か押して、「行きます」にします。

(変換)を押すたびに、「いきます」に当てはまる言葉（同音異義語）が次々と表示されます。

- (機能)を押し、指を離してから(変換)を押す、または⊼を押すと、1つ前の漢字が表示されます（前候補）。

R かな
3×3 5.9cm
今日行きます

7 「行きます」が表示されたら、(実行)を押します。

「行きます」が確定されます。

R かな
3×3 9.9cm
日行きます・

カーソルと下線の違い

カーソルは、文字が入る位置を示した目印で、点滅して画面に表示されます。ひらがなを漢字に変えるときにつく下線は、「現在、変換することができる部分」を示した印です。

- 下線がついているときに(取消し)を押すと、「よみ」の状態に戻ります。

例 きょう →(変換) 今日 →(取消し) きょう

「よみ」を入れて(変換)を押しても目的の漢字に変換できないときは、単漢字変換を試してみましょう。（次ページ）

漢字1文字ずつ変換する(単漢字変換)

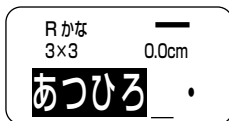
当て字や難しい固有名詞などを変換するときは、1字ずつ目的の漢字に変換します。

[例]　敦廣(あつひろ)

1 「あつひろ」をひらがなで入力します。

R かな
3×3　0.0cm
あつひろ

2 (単漢字)を押します。

あつひろ
集暑熱圧厚篤

「あつ」に合った漢字がいくつか表示されます

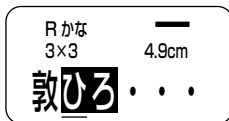
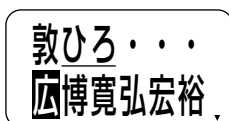
3 ⋀⋁＜＞を押して、敦 にします。

あつひろ
宏惇淳敦渥会

4 (実行)を押します。
「敦」が確定されます。

R かな
3×3　4.9cm
敦ひろ

5 (単漢字)を押します。

敦ひろ
広博寛弘宏裕

6 ⋀⋁＜＞を押して、廣にします。

敦ひろ・・・
汎恢壷廣闊滉

7 実行を押します。

Rかな
3×3
5.9cm
敦廣・・・・

3のときにもう一度単漢字を押すと変換対象の範囲が「あつ」から「あ」となります。
（単漢字を押すごとに、変換対象の範囲が変化します。）

思いどおりの漢字に変換されないのはなぜ?

次のようなことが考えられます。

- 「週(しゅう)」を「しゆう」と入力している
- 「図(ず)」を「づ」と入力している
- 「通り(とおり)」を「とうり」と入力している
- 「社食(しゃしょく)」「道交法(どうこうほう)」など、略語の読みを入力している

次の文字の入力には、特に注意してください。

- 「ぁ」「ぃ」「ぅ」「ぇ」「ぉ」「ゃ」「ゅ」「ょ」の拗音
- 「っ」の促音
- 「ず」と「づ」
- 「じ」と「ぢ」
- 「お」と「う」

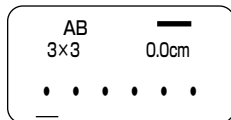
アルファベット・数字・記号の入力

アルファベット、数字、記号の入れかたを説明します。

アルファベットの入力

［例］ ＡＫＩ

1 **aA を何回か押して、画面の左上に「AB」または「ab」を表示させます。**
AB：大文字の入力時
ab： 小文字の入力時

AB
3×3 0.0cm

2 **A K I と押します。**
アルファベットは、キーを押したと同時にその文字に確定されます。

- **カンマ（,） ピリオド（.）を入力するには**
画面の左上に「AB」または「ab」と表示されているときに、次のキーを押します。
ピリオド： （.れ） **カンマ：** （,る）

- **大文字と小文字が混ざった文章を簡単に入力するには**

「AB」表示のとき シフトを押し、指を離してから文字キーを押すと、その文字だけ小文字になります。
例 TAKESHI's

「ab」表示のとき シフトを押し、指を離してから文字キーを押すと、その文字だけ大文字になります。
例 English

数字の入力

［例］　１２３

■ローマ字入力のとき

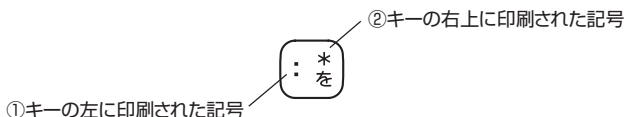
1 1 2 3と押します。

数字は、ひらがな・カタカナ・アルファベットなど、どの入力中でも使えます。

■かな入力のとき

1 aAを押して、画面の左上に「ab」または「AB」を表示させます。

2 1 2 3と押します。

記号（キーに印刷されているもの）の入力

②キーの右上に印刷された記号

：＊を

①キーの左に印刷された記号

■ローマ字入力の場合

① [：＊を]を押すと → 「：」が入ります。

② [シフト]を押し、指を離してから[：＊を]を押すと → 「＊」が入ります。

■かな入力の場合

その他の記号

…《》☞ 4 ♥ ㌔ ♪ など

記号は「点など」「かっこ」「矢印」「数字」「丸など」「単位」「その他」の7つのグループに分かれています。95ページの記号一覧を見ながら、使いたい記号がどのグループに入っているのかを確かめてください。

[例] ⑤（グループ名……数字）

1 **（機能）を押し、指を離してから（8 記号）を押します。**

記号のグループ名

点など かっこ
矢印 数字

2 **△▽＜＞を押して数字にし、（実行）を押します。**

数字 1
①②③④⑤⑥

3 **△▽＜＞を押して⑤にし、（実行）を押します。**

Rかな
3×3 4.9cm
⑤・・・・・

絵文字の入力

内蔵の絵文字を使うことができます。絵文字は12のグループに分かれています。
95～97ページの絵文字一覧を見ながら、使いたい絵文字がどのグループに入っているのかを確かめてください。
また、文字体の指定は無効です。

［例］ （グループ名……食べ物）

1 （機能）を押し、指を離してから（絵文字 7 に）を押します。

予定　乗り物
食べ物暮らし

絵文字のグループ名

2 △▽◁▷を押して**食べ物**にし、（実行）を押します。

3 △▽◁▷を押して「 」にし、（実行）を押します。

文字を修正・削除するときは

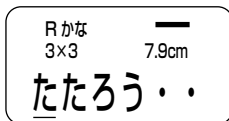
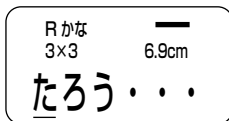
文字を間違えて入力したときの直しかたと、入力してあるすべての文字を削除する方法を説明します。

文字を1文字ずつ消す

■カーソルの上の文字を消す

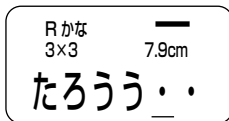
［例］　「たたろう」の「た」を消して「たろう」に直す

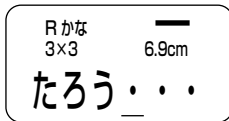
1 **◁▷を何回か押して、「た」にカーソルを合わせます。**

R かな
3×3　7.9cm
たたろう・・

2 **文字削除を押します。**
「たろう」になります。

■カーソルの前の文字を消す

［例］　「たろうう」の最後の「う」を消して、「たろう」に直す

1 **消したい文字の次の文字にカーソルを合わせます。**

R かな
3×3　7.9cm
たろうう・・

2 **後退を押します。**
「たろう」になります。

R かな
3×3　6.9cm
たろう・・・

すべての文字を消す（文削除）

入力中の項目の文章をすべて消します。

1 **(機能)を押し、指を離してから(文字削除)と押します。**

「削除しますか?」と表示されます。

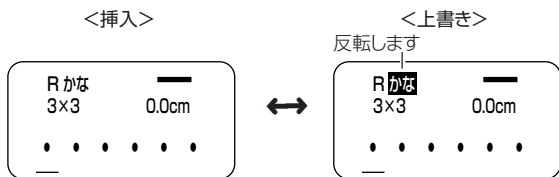
2 **(実行)を押します。**

• 画面にあった文字はすべて消えます。

間違った文字を直す

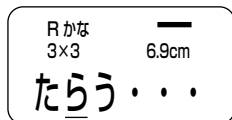
間違った文字を直す方法は、文字の入力方法が「挿入」状態になっているか、「上書き」状態になっているかで違ってきます。

■「上書き」にするとき

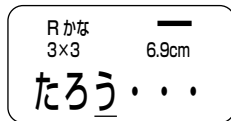
(シフト)を押し、指を離してから(あア)を押します。

もう一度(シフト)を押し、指を離してから(あア)を押すと、「挿入」状態に戻ります。

■間違った文字を消して正しい文字を入力する（「挿入」状態）

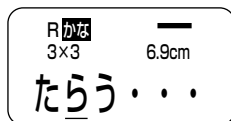
［例］　「たらう」を「たろう」に直す

1 **(◁)(▷)を押して「ら」にカーソルを合わせます。**

2 **文字削除を押します。**
「ら」が削除され、「う」が「ら」の位置に移動します。

3 **「ろ」を入力し、無変換(カタカナ変換)を押します（確定します）。**

R かな
3×3 6.9cm
たろう・・・

■間違った文字の上に正しい文字を入力する（「上書き」状態）

1 **◁▷を押して「ら」にカーソルを合わせます。**

R かな
3×3 6.9cm
たらう・・・

2 **「ろ」を入力します。**
「ら」が「ろ」になります。

「設定」で切り替えるには

1 機能を押し、指を離してから(設定)を押します。
2 △▽◁▷を押して「入力」を選び、実行を押します。
3 ◁▷を押して「挿入」または「上書き」を選び、実行を押します。

確定前に文字を消すには

たたろう など、文字に■が重なっているとき（確定前）に文字を消すときも、カーソルを消したい文字に合わせて文字削除を押して消します。
また、取消しを押すと、■が重なっている文字がぜんぶ消えます。

確定→61ページ

書体(フォント)を変える

入力済みの文字の形(書体)を、和文2書体、かな･英数4書体の中から選ぶことができます。
また電源を入れたときの書体を決める設定方法についても説明しています。

■和文書体(かな･英数を除く)

丸ゴシック体	明朝体
亜	亜

■かな･英数書体

丸ゴシック体	明朝体
あアA1	あアA1
メロディ	**プロデュース**
あアA1	あアA1

• メモリーリセット後は、｢和文：丸ゴシック体｣｢かな･英数：和文と同じ(丸ゴシック体)｣に設定されています。

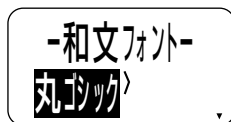
入力済みの文字の書体を変える

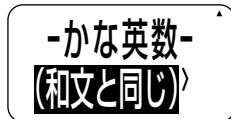
定価¥39,800

［例］（「定価」を丸ゴシック体に、「¥39,800」をメロディにする）

1 文字を入力します。

2 (機能)を押し、指を離してから(3 # う)(フォント)を押します。

-和文フォント-
丸ゴシック〉

3 ⊲⊳を押して丸ゴシックを選び、(実行)を押します。

（和文の書体の種類を選びます。）

-かな英数-
（和文と同じ）〉

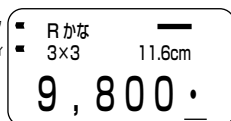
4 ⊲⊳を押してメロディを選び、(実行)を押します。

（かな･英数の書体の種類を選びます。）

※和文と同じを選ぶと、和文と同じ書体の設定になります。

※和文と同じ以外を選んだときは、かな･英数の書体は、手順4で選んだ書体になります。和文と、かな･英数の書体を同じにしたい場合は、和文と同じを選んでください。

設定後、文字入力の画面に戻ります。

丸ゴシック　Rかな
メロディ　3×3　11.6cm
9,800・

電源を入れたときの書体を決める（初期フォント）

1 （機能）を押し、指を離してから（設定 ー）を押します。

2 ⋀⋁＜＞を押して**フォント**にし、（実行）を押します。

3 ⋀⋁＜＞を押して和文書体とかな英数書体のフォント名を選び、（実行）を押します。

4 （電源）を押して一度電源を切り、再び（電源）を押して電源を入れます。

5 文字入力の画面を表示させます。

文字を入力すると、指定したフォントで入ります。

微小フォントについて

- 行数（入力した行数または選んだフォーマットの行数）と、テープ幅によって、「微小フォント」となります（94ページ）。
- 微小フォントには、次のような特徴があります。
  - フォントの設定は、無効です（すべて同じフォントで印刷されます）。
  - 文字体または文字修飾を設定すると、きれいに印刷できないことがあります。
  - 絵文字は、きれいに印刷できないことがあります。
- 微小フォントに設定されているときは、画面左下に「微小フォント」の■が点灯します。

- メモリーに登録されているデータや、「［実行］で前回の文章が復帰します」で呼び出したデータを使う場合は、現在の書体ではなくそのデータの作成時の書体が優先されます。

文字を目立たせる

文字を「太字」「白抜」「影付」「立体」にして目立たせることができます（文字体）。

- 絵文字は、文字体の指定はできません。

標準 住所録　太字 住所録　白抜 住所録

影付 住所録　立体 住所録

1 **文字を入力します。**

2 **（機能）を押し、指を離してから（5 %/お 装飾）を押します。**

3 **◁▷を押して文字体を選び、（実行）を押します。**

A標準 A太字
A白抜 A影付

4 **△▽◁▷を押して文字体の種類を選び、（実行）を押します。**

- A標準を選ぶと、指定済みの文字体を通常の文字に戻すことができます。
- 設定後、文字入力の画面に戻ります。

画面右上の「A」（太字）・「A」（白抜）・「A」（影付）・「A」（立体）に「▲」がつきます。
標準の場合は何もつきません。

AAAA
R かな ▲
3×3　6.9cm
住所録・・・

文字に飾りをつける

文字に網を重ねたり、下線をつけたり、枠をつけたりすることができます。

網　掛	下　線	枠付
修飾	修飾	修飾

1 **文字を入力します。**

2 **(機能)を押し、指を離してから(5 % お 装飾)を押します。**

3 **⊲⊳を押してもじ修飾を選び、(実行)を押します。**

4 **⊿⊽⊲⊳を押して文字修飾の種類を選び、(実行)を押します。**

- 取消しを選ぶと、指定済みの文字修飾を取り消すことができます。
- 定型フォーマット、名前シールでは、フォーマットによって「枠付」に固定されているものと「枠付」を選べるものがあります。「網掛」はフォーマットによっては固定されています。「下線」を選ぶことはできません。
- 設定後、文字入力の画面に戻ります。

文字修飾を重ねることもできます

手順2～4の操作を繰り返して設定してください。

特売 **網掛＋枠付**　　特売 **網掛＋下線**

- ただし、文字の大きさによっては、文字や修飾が重なって印刷されることがあります。

設定編

文字の入力方法や画面の明るさなど、本機を操作するための設定方法について説明します。

設定を変える

文字の入力方法や画面の明るさなどの設定を使いやすいように変更することができます。

設定できる項目

［機能］を押し、指を離してから［設定］を押すと、右の画面が表示されます。

入力　輝度
濃度　フォント

△▽◁▷で設定したい項目を選んで画面を切り替え、設定を変更します。

• 設定に入るときの画面によっては、一部の項目が表示されないことがあります。

設定項目		内容	ページ
入力	挿入/上書き	入力モードを切り替える	72
	ローマ字入力/かな入力	入力方法を決める	56
輝度		画面の濃淡を調整する	79
濃度		印刷の濃さを調整する	79
フォント(初期フォント)		入力文字の最初の書体を決める	75
デモ印刷		ラベルの印刷例を印刷する	80

画面の明るさを変えたい

画面の表示が見えにくいときは、画面の明るさ（コントラスト）を調整することができます。

1 **（機能）を押し、指を離してから（設定 －）を押します。**

2 **△▽◁▷を押して「輝度」を選び（実行）を押します。**

3 **◁▷を押して明るさを調整し、（実行）を押します。**

◁を押すごとに薄く、▷を押すごとに濃くなります。

印刷の濃さを変えたい

印刷された文字が薄かったり、濃かったりしたときは、お好きな濃さに変えることができます。

1 **（機能）を押し、指を離してから（設定 －）を押します。**

2 **△▽◁▷を押して「濃度」を選び（実行）を押します。**

3 **◁▷を押して濃さを設定し、（実行）を押します。**

1 にすると1番薄く印刷され、5 にすると1番濃く印刷されます。

- 印刷の濃さの設定を変更しても、使用環境や使用状況が変わらない場合は、実際に印刷される濃度が変わらないことがあります。

サンプルデータを印刷する(デモ印刷)

内蔵のサンプルデータを印刷して、本機でどんなラベルが作れるかを見ることができます。

重要 デモ印刷を行うと、前回作成したデータは消えてしまいます。大切なデータの場合には、登録してから印刷をしてください。
また、ノートなどに控えをとっておいてください。
(データの登録→51ページ)

1 テープカートリッジがセットされていることを確認します。

• テープカートリッジについて→20ページ

2 電源が入っているときは [電源] を押して電源を切ります。

3 [電源] を押して電源を入れます。

「[実行]で前回の文章が復帰します」と表示された場合は、[取消し]を押します。

4 [機能]を押し、指を離してから[設定]を押します。

5 [△][▽][<][>]を押して「デモ印刷」を選び、[実行]を押します。

6 [実行]を押します。

• 印刷が始まります。
• セットしているテープカートリッジの幅によって、印刷される内容は異なります。

7 印刷が終了したら[<][>]を押して 終了 を選び、[実行]を2回押します。

付　録

電源について

本機を使うときは、電源として単3形のアルカリ乾電池のほかに、別売のACアダプターを使うことができます。

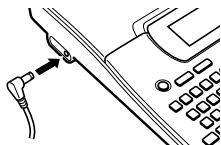
• ご使用前に「安全上のご注意」（1〜8ページ）を必ずご覧ください。

別売のACアダプターで使う

別売のACアダプター（AD-A95100L）を使用すると、乾電池をセットしなくても本機を使うことができます。
※ACアダプターは「AD-A95100lJ」も使用することができます。

■取り付ける

• 指定のACアダプター以外は使用しないでください。
• 「電池からACアダプターに切り替えるとき」「ACアダプターから電池に切り替えるとき」は、必ず、一度電源を切ってからACアダプターの接続や電池のセットをしてください。電源を入れた状態で行うと、電源が切れて作成中の文章が消去される場合があります。

1 **ACアダプターのプラグを、本機のACアダプター接続端子に差し込みます。**

2 **ACアダプターをご家庭のコンセント<AC100V>に差し込みます。**

■取り外す

- 印刷中にACアダプターを取り外さないでください。故障の原因となります。
- 「電源が入っている状態」や、電源を切った後も、表示画面が完全に消えるまでは、ACアダプターや乾電池(16ページ)を取り外さないでください。一時的に保存された作成中の文章や本機に登録した文章、設定された内容が消去されてしまいます。

1 電源◯を押して電源を切ります。

2 コンセントからACアダプターのプラグを抜きます。

3 本機のACアダプター接続端子からACアダプターのプラグを抜きます。

電源コードの両端部分は、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。また、電源コードの両端部分が折り曲げられた状態で保管しないでください。コードが断線して故障の原因となります。

お手入れの方法

プリンターヘッドやゴムローラーがよごれていると、ラベルをきれいに印刷できません。次の手順にしたがって、プリンターヘッドやゴムローラーをきれいにしてください。

綿棒できれいにする

- プリンターヘッドやゴムローラーのお手入れは、綿棒などのやわらかいもので行ってください。また、綿棒は極細タイプをお使いになることをおすすめします。

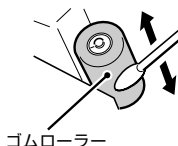
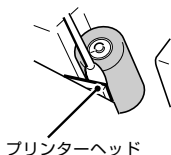
1 **カセットカバーを開けます。**

- テープカートリッジが装着されているときは、テープカートリッジを取り出します。

印刷中や印刷直後は、プリンターヘッドが熱くなるため、十分に時間をおいてから、テープカートリッジを取り外してください。

2 **アルコールを浸した綿棒でプリンターヘッド、ゴムローラーの表面をふきます。**

ローラーとヘッドが接触する部分を重点的にふいてください。

- ゴムローラーは、(機能)を押し、指を離してから(テープ送り ~ ☎ ゆ)を押すと回転します。
- 市販のカセットテープレコーダー用のヘッドクリーニングキットもご使用になれます。

クリーニングテープを使う

別売のクリーニングテープ(XR-24CLE)を使うこともできます。

1 **カセットカバーを開けます。**

- テープカートリッジが装着されているときは、テープカートリッジを取り出します。

重要 **印刷中や印刷直後は、プリンターヘッドが熱くなるため、十分に時間をおいてから、テープカートリッジを取り外してください。**

2 **クリーニングテープを本機に装着します。**

3 **電源 ◯を押して電源を入れます。**

4 **(機能)を押し、指を離してから(テープ送り)を押して、「テープ送り」を1〜2回行います。**

詳しくはクリーニングテープに付属の取扱説明書をご参照ください。

本体もお手入れしましょう

やわらかい布を水に浸してから固くしぼって、本体を拭いてください。本体を傷つけるので、ベンジン、アルコールやシンナーなどの揮発性のものは使わないでください。

こんなときは（トラブルシューティング）

本機がうまく動かないときには、次の対処方法にしたがってトラブルを解決してください。次の対処方法で解決できないトラブルは、「メモリーの初期化」（18ページ）をしてください（メモリーの初期化をすると本機に記憶したデータが消去されます。必要なデータはノートなどに控えをとってください）。それでも解決できない場合は、故障している可能性もありますので、お買い上げ店、もよりの本機取扱店、もしくはカシオテクノ修理相談窓口にご相談ください。

症状	考えられる原因	ご確認ください
● 電源◯を押しても何も表示されない	画面の明るさが適切でない	画面の明るさの設定を調整してください。（79ページ）
	乾電池が消耗している、または指定以外の乾電池を使用している	新しい単3形アルカリ乾電池と交換するか、別売のACアダプターをご使用ください。
	乾電池が正しくセットされていない	正しくセットし直してください。（16ページ）
	ACアダプターがきちんと接続されていない	別売のACアダプターを正しく接続してください。（81ページ）
● 正しく終了するが何も印刷されない	「空白」だけが入力されている	印刷したい文章を入力してください。
	テープが終了している	新しいテープカートリッジと交換してください。
● 印刷が不鮮明になった ● 印刷がきれいにできない ● 印刷が薄い	プリンターヘッドやゴムローラーに、汚れ、ゴミ、異物が付着している	クリーニングをしてください。（83ページ）
	インクリボンのたるみによるしわが発生した	インクリボンを巻き取り、テープカートリッジを正しくセットし直してください。（20ページ）

症状	考えられる原因	ご確認ください
●印刷が不鮮明になった ●印刷がきれいにできない ●印刷が薄い	乾電池が消耗している	新しい単3形アルカリ乾電池と交換するか、別売のＡＣアダプターをご使用ください。
	テープカートリッジが正しくセットされていない	正しくセットし直してください。
	印刷濃度の設定が薄い	印刷濃度を濃く設定してください。（79ページ）
●印刷されない	乾電池が消耗している、または指定以外の乾電池を使用している	新しい単3形アルカリ乾電池と交換するか、別売のACアダプターをご使用ください。
●印刷中に電源が切れる	乾電池が消耗している。または指定以外の乾電池を使用している	新しい単3形アルカリ乾電池と交換するか、別売のACアダプターをご使用ください。
●文字が入力できない	（機能）を押した状態になっている	（取消し）を押して、文字が入力できる画面にします。
●目的の漢字に正しく変換されない	正しい「読み」が入力されていない	正しい「読み」を入力してください。特に、拗音（「しょう」の「ょ」など）や促音（「がっき」の「っ」など）の入力には注意しましょう。
	入力できる文字の種類が自分の思っている種類と違っている	（あア）または（aA）を押して変更してください。（57ページ）
●（印刷プレビュー/印刷）などの機能キーを押しても画面が変わらない	ひらがなに■が重なっている 例　あか 漢字に下線がついている 例　赤	ひらがなや漢字は必ず確定してください。■が重なっていたり下線がついていたりすると（確定前）、他の機能が使えません。
●（印刷プレビュー/印刷）を押してもテープが出てこない	本機のカセットカバーがしっかりと閉まっていない	カセットカバーをしっかり閉めてください。（22ページ）
	テープが終了している	新しいテープカートリッジ（別売）に交換してください。（20ページ）

症状	考えられる原因	ご確認ください
● 印刷プレビュー（印刷）を押してもテープが出てこない	テープがつまっている	テープカートリッジを取り出して、つまったテープを指で引き出します。引き出したテープはハサミなどでカットしてください。そのあと、正しくセットし直します。（21ページ） 重要 印刷中に、次のようなことはしないでください。 • テープ出口をふさぐ • 出てくるテープにさわる • 本機のカセットカバーを開ける • 電源を切る。
	乾電池が消耗している	新しい単3形アルカリ乾電池と交換するか、別売のACアダプターをご使用ください。
	テープカートリッジのストッパーを外していない	20ページの「テープカートリッジを取り付ける」にしたがって、ストッパーを外してからセットしてください。
● インクリボンがテープといっしょにテープ出口からでてきた	インクリボンがたるんでいるままで、テープカートリッジをセットした	テープカートリッジを取り出します。インクリボンが切れていないことを確かめてから、テープを巻きとってください。そのあと正しくセットし直してください。（21ページ） 重要 • テープカートリッジをセットするときは、必ずインクリボンのたるみをとってください。 • インクリボンが切れているときは、新しいテープカートリッジ（別売）に交換してください。

症状	考えられる原因	ご確認ください
●テープが切れない	テープカッターが摩耗している	カシオテクノ修理相談窓口に連絡して交換してください。（112ページ）
	テープ出口にテープがつまっている	電源を切って、テープカートリッジを取り出し、つまったテープを取り除いてください。
	反射テープ、アイロン布テープを使用している	印刷終了後、ハサミなどでカットしてください。
●ラベルが貼れない	裏紙をはがしていない	裏紙をはがしてから貼ってください。（30ページ）
	貼る場所やものが適していない	表面がザラザラしているもの、水や油がついているもの、汚れているものなどには貼れません。（30ページ）
●ラベルの先頭の余白が大きい	本機の構造上、印刷時にはラベルの先頭に必ず余白が入ります	

エラーメッセージ一覧

メッセージ	原因と対処	参照ページ
前回正しく終了されませんでした	• 前回、電源が入っているときや「しばらくお待ちください」と表示されているときに、乾電池やACアダプターを取り外すなどして正常に終了できなかった場合。 ➡ 登録内容の一部が消去されています。何かキーを押すと、その部分が初期化されます。	16 18 81
文字が入力されていません	• 文字を入力していない状態で、フリーラベル、定型フォーマット、名前シールを使って印刷しようとした場合。 ➡ 文字を入力してから、印刷操作をしてください。	—

メッセージ	原因と対処	参照ページ
文字数ｵｰﾊﾞｰ	• 「フリーラベルで文字を80文字を超えて入力しようとした場合」、「未確定文字を32文字を超えて入力しようとした場合」、または「定型フォーマット、名前シールで決められた文字数を超えて入力しようとした場合」。 • 登録名入力で5文字を超えて入力しようとした場合。 ➡ 文章の文字数を減らしてください。	—
電池残り少	• 電池が消耗した場合。 ➡ できるだけ早く新しい単3形アルカリ乾電池に交換することをおすすめします。 • 10℃未満の低温下で使用した場合。 ➡ 使用温度範囲（10℃～35℃）でご使用ください。	17
候補なし	• 単漢字変換で、候補の漢字がない場合。 ➡ (取消し)を押して別の読みで変換操作をしてください。	63
行数ｵｰﾊﾞｰ	• 3.5mmテープで改行マークを入力しようとした。 ➡ 3.5mmテープでは改行マークは入力できません。 • 6mmテープで改行マークを2つ入力しようとした。 ➡ 6mmテープでは改行マークは1つまで入力可能です。 • 9/12/18/24mmテープで改行マークを3つ入力しようとした。 ➡ 9/12/18/24mmテープでは改行マークは2つまで入力可能です。	42
行数ｵｰﾊﾞｰ 印刷できません	• 3.5mmテープで2行以上、6mmテープで3行の文章を作成し、印刷または印刷プレビューをしようとした場合。 ➡ 行数を減らしてください。 • 6mmテープで2行のラベルを作り、フレーム印刷（イラスト、飾り）をしようとした場合。 ➡ 行数を減らすか、テープカートリッジを9mm以上の幅のものに変えてください。	42 50

メッセージ	原因と対処	参照ページ
行数オーバー 印刷できません	• 9mm テープで3行のラベルを作り、フレーム印刷(イラスト、飾り)をしようとした場合。 ➡ 行数を減らすか、テープカートリッジを12mm以上の幅のものに変えてください。 • 2行以上の文章を作成し、文字単位のフレーム印刷をしようとした場合。 ➡ 文字単位のフレームは2行以上では印刷できません。1 行で作成してください。	42 50
テープカートリッジが 不適当です	• 3.5/6/9/12/18/24mm以外のテープカートリッジがセ ットされている場合。 ➡ 電源をOFFして、3.5/6/9/12/18/24mm のテープカートリッジをセットしてください。	20
テープカートリッジを 装着してください	• テープカートリッジがセットされていない場合。 ➡ 電源をOFFしてテープカートリッジをセットしてください。	20
6mm以下のテープを 装着してください	• 定型フォーマットのMD背、CD-R背のフォーマットに入るときに9mm以上のテープカートリッジがセットされている場合。 ➡ 電源をOFFして6mm以下のテープカートリッジをセットしてください。	100 101
6mm以上のテープを 装着してください	• フレーム印刷で3.5mmのテープカートリッジがセットされている、またはテープカートリッジがセットされていない場合。 ➡ 電源をOFFして6mm以上のテープカートリッジをセットしてください。	49
9mm以上のテープを 装着してください	• 定型フォーマットのMD背、CD-R背以外のフォーマットまたは名前シールに入るときに6mm以下のテープカートリッジがセットされている場合。 • フレーム印刷で、6mmのテープカートリッジがセットされているときに「文字」を選んだ場合。 ➡ 電源をOFFして9mm以上のテープカートリッジをセットしてください。	99

メッセージ	原因と対処	参照ページ
12㎜以上のテープを装着してください	• 名前シールの「住所」のフレーム付き3行のフォーマットで、9mm以下のテープカートリッジがセットされている、またはテープカートリッジがセットされていない場合。 • デザインロゴに入るときに、9mm以下のテープカートリッジがセットされている場合。 ➡ 電源をOFFして12mm以上のテープカートリッジをセットしてください。	103
18㎜以上のテープを装着してください	• 名前シールの「えんぴつ巻き」で、3.5/6/9/12mmのテープカートリッジがセットされている、またはテープカートリッジがセットされていない場合。 ➡ 電源をOFFして18mm以上のテープカートリッジをセットしてください。	102
プリントエラー	• 印刷中に、テープがつまってしまった場合。 ➡ 電源を切って、テープカートリッジを取り出し、つまったテープを取り除いてください。 ※ 上記の対処を行っても、メッセージが表示される場合は、お買いあげの販売店または取扱説明書などに記載のカシオテクノ修理相談窓口にお問い合わせください。	23 112
文章を削除？ 実行／取消し	• 定型フォーマット、名前シール、デザインロゴを行おうとしたときにすでに文字が入力されていた場合。 ➡ 文字を削除して定型フォーマット、名前シール、デザインロゴを行う場合は、(実行)を押してください。 ➡ 文字を削除したくない場合は、(取消し)を押してください。	—
データが登録されていません	• メモリーの呼出しで、登録されているデータが存在しなかった場合。 ➡ メモリーの登録をしてから、呼出しをしてください。	51

ローマ字入力一覧

ローマ字入力するときの、つづりかたの一覧表です。

行					
あ行	あ A	い I	う U	え E	お O
か行	か KA CA	き KI	く KU CU QU	け KE	こ KO CO
が行	が GA	ぎ GI	ぐ GU	げ GE	ご GO
さ行	さ SA	し SI SHI	す SU	せ SE	そ SO
ざ行	ざ ZA	じ ZI JI	ず ZU	ぜ ZE	ぞ ZO
た行	た TA	ち TI CHI	つ TU TSU	て TE	と TO
だ行	だ DA	ぢ DI	づ DU	で DE	ど DO
な行	な NA	に NI	ぬ NU	ね NE	の NO
は行	は HA	ひ HI	ふ HU FU	へ HE	ほ HO
ば行	ば BA	び BI	ぶ BU	べ BE	ぼ BO
ぱ行	ぱ PA	ぴ PI	ぷ PU	ぺ PE	ぽ PO
ま行	ま MA	み MI	む MU	め ME	も MO
や行	や YA		ゆ YU	いぇ YE	よ YO

行					
ら行	ら RA LA	り RI LI	る RU LU	れ RE LE	ろ RO LO
わ行	わ WA	ゐ WI	う WU	ゑ WE	を WO
ん行	ん NN，N＋子音 MP＋母音、MB＋母音				

行					
きゃ行	きゃ KYA	きぃ KYI	きゅ KYU	きぇ KYE	きょ KYO
ぎゃ行	ぎゃ GYA	ぎぃ GYI	ぎゅ GYU	ぎぇ GYE	ぎょ GYO
くぁ行	くぁ QA	くぃ QI		くぇ QE	くぉ QO
くゎ行	くゎ KWA QWA	くぃ KWI	くぅ KWU	くぇ KWE	くぉ KWO
ぐゎ行	ぐゎ GWA	ぐぃ GWI	ぐぅ GWU	ぐぇ GWE	ぐぉ GWO
しゃ行	しゃ SYA SHA		しゅ SYU SHU	しぇ SYE SHE	しょ SYO SHO
じゃ行	じゃ ZYA JA JYA	じぃ ZYI JYI	じゅ ZYU JU JYU	じぇ ZYE JE JYE	じょ ZYO JO JYO
ちゃ行	ちゃ TYA CYA CHA	ちぃ TYI CYI	ちゅ TYU CYU CHU	ちぇ TYE CYE CHE	ちょ TYO CYO CHO
ぢゃ行	ぢゃ DYA	ぢぃ DYI	ぢゅ DYU	ぢぇ DYE	ぢょ DYO

つぁ行	つぁ TSA	つぃ TSI		つぇ TSE	つぉ TSO
てゃ行	てゃ THA	てぃ THI	てゅ THU	てぇ THE	てょ THO
でゃ行	でゃ DHA	でぃ DHI	でゅ DHU	でぇ DHE	でょ DHO
とぅ			とぅ TWU		
どぅ			どぅ DWU		
にゃ行	にゃ NYA	にぃ NYI	にゅ NYU	にぇ NYE	にょ NYO
ひゃ行	ひゃ HYA	ひぃ HYI	ひゅ HYU	ひぇ HYE	ひょ HYO
びゃ行	びゃ BYA	びぃ BYI	びゅ BYU	びぇ BYE	びょ BYO
ぴゃ行	ぴゃ PYA	ぴぃ PYI	ぴゅ PYU	ぴぇ PYE	ぴょ PYO

ふぁ行	ふぁ FA	ふぃ FI		ふぇ FE	ふぉ FO
ふゃ行	ふゃ FYA	ふぃ FYI	ふゅ FYU	ふぇ FYE	ふょ FYO
ぶゃ行	ぶゃ VYA	ぶぃ VYI	ぶゅ VYU	ぶぇ VYE	ぶょ VYO
みゃ行	みゃ MYA	みぃ MYI	みゅ MYU	みぇ MYE	みょ MYO
りゃ行	りゃ RYA LYA	りぃ RYI LYI	りゅ RYU LYU	りぇ RYE LYE	りょ RYO LYO
ぶぁ行 ヴァ行	ぶぁ ヴァ VA	ぶぃ ヴィ VI	ぶ ヴ VU	ぶぇ ヴェ VE	ぶぉ ヴォ VO

小文字(拗音・促音)

あ XA シフト＋A	い XI シフト＋I	う XU シフト＋U	え XE シフト＋E	お XO シフト＋O
ゃ XYA Y シフト A	ゅ XYU Y シフト U	ょ XYO Y シフト O	ゎ XWA W シフト A	

っ XTU、XTSU、LTU T シフト U、TS シフト U	ヵ XKA K シフト A	ヶ XKE K シフト E

※ N以外の子音を2度入力しても「っ」や「ッ」になります。

ローマ字入力一覧

付録

テープ幅と行数・倍率一覧

印刷可能行数や最大"縦"倍率は、ご使用になるテープの幅やフォーマットによって異なります。

		3.5mm	6mm	9mm	12mm	18mm	24mm	参照ページ
最大印刷可能行数	標準フォント	—	1行	1行	2行	3行	3行	40ページ 43ページ 44ページ
	微小フォント	1行	2行	3行	3行	—	—	
最大"縦"倍率		微小 1倍	標準 1倍	標準 2倍	標準 3倍	標準 4倍	標準 4倍	44ページ 43ページ

各機能における使用可能テープ幅一覧

	3.5mm	6mm	9mm	12mm	18mm	24mm
フリーラベル	○	○	○	○	○	○
フレーム	×	○※1	○	○	○	○
定型フォーマット	○	○	○	○	○	○
名前シール印刷	×	×	○	○	○	○
デザインロゴ	×	×	×	○	○	○

※ 1 文字単位のフレームでは、6mm幅のテープは使用できません。

※ 定型フォーマットと名前シールでは、フォーマットによって使用可能テープが異なります。詳しくは99～103ページを参照してください。

記号・絵文字一覧

記　号

●点など

、。，．・：；？！゛゜￣＿―‐／～‖｜…‥‘’“”

●かっこ

（）［］｛｝〈〉《》「」『』

●矢印

→←↑↓⇒⇐⇑⇓⇔⇕

●数字

①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳ Ⅰ Ⅱ Ⅲ Ⅳ Ⅴ Ⅵ Ⅶ Ⅷ Ⅸ Ⅹ 0123456789 ○10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

●丸など

☆★○●◎◇◆□■△▲▽▼♠♤♥♡♣♧♦♢

●単位

＋－×÷＝℃￥＄％ｇ ㎡ ㎥ ℓ ㍉ ㌢ ㍍ ㌔ ㌖ ㌘ ㌔グラム ㌧

●その他

々仝ヽヾゝゞ〃ヴヵヶヮヰヱゎゐゑ〆ー＆＊＠※＃♭♪☎

TEL No. 〒 K.K. ♂ ♀

絵文字

同じ絵文字が複数のグループに入っている場合があります。

●予定

●乗り物

絵文字

●食べ物

●暮らし

●生き物

●ビデオ

絵文字

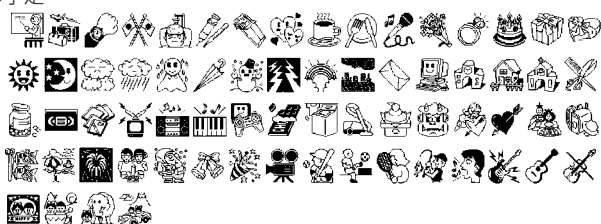
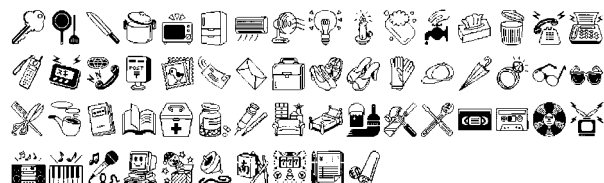
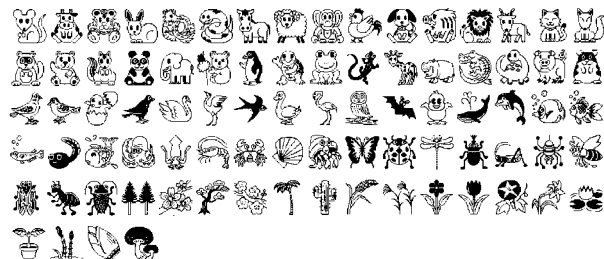
●文房具

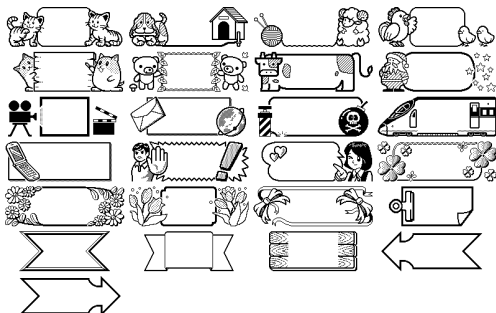
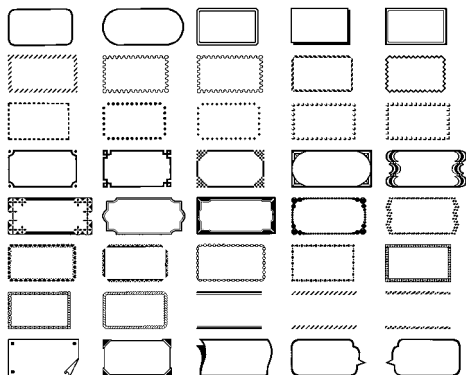
●注意

●案内

●干支

●星座

●その他

フレーム一覧

●イラストフレーム

●飾りフレーム

●文字単位フレーム

定型フォーマット一覧

用途	規格	方向	番号	フォーマット	入力項目	印刷可能テープ幅					
						24	18	12	9	6	3.5
ビデオ（12種類）	VHS (14.8cm)	縦	1		タイトル	○	○	○	○	－	－
		縦	2		タイトル コメント						
		縦	3		ぶんるい タイトル コメント1 コメント2 コメント3						
		縦	4		タイトル1 タイトル2 コメント						
	ミニDV (6.5cm)	縦	1		タイトル	○	○	○	○	－	－
		縦	2		タイトル コメント						
		縦	3		タイトル コメント1 コメント2						
		縦	4		タイトル1 タイトル2 コメント						
	8ミリ (9.4cm)	縦	1		タイトル	○	○	○	○	－	－
		縦	2		タイトル コメント						
		縦	3		ぶんるい タイトル コメント1 コメント2						
		縦	4		タイトル1 タイトル2 コメント						

用途	規格	方向	番号	フォーマット	入力項目	印刷可能テープ幅					
						24	18	12	9	6	3.5
オーディオ(9種類)	MD表(7.1cm)	横	1		タイトル	○	○	○	○	—	—
		横	2		タイトル コメント						
		横	3		タイトル コメント1 コメント2						
		横	4		タイトル1 タイトル2 コメント						
	MD背(5.7cm)	横	(なし)		タイトル	—	—	—	—	○	○
	カセット(9.9cm)	横	1		タイトル	○	○	○	○	—	—
		横	2		タイトル コメント						
		横	3		タイトル コメント1 コメント2						
		横	4		タイトル1 タイトル2 コメント						
ファイル(11種類)	ファイル大(18.0cm)	縦	1		タイトル	○	○	○	○	—	—
		縦	2		タイトル コメント						
		縦	3		ぶんるい タイトル コメント1 コメント2 コメント3						

用途	規格	方向	番号	フォーマット	入力項目	印刷可能テープ幅					
						24	18	12	9	6	3.5
ファイル(11種類)	ファイル小(14.0cm)	縦	1		タイトル	○	○	○	○	−	−
		縦	2		タイトル コメント						
		縦	3		ぶんるい タイトル コメント1 コメント2 コメント3						
	CD-R表(11.4m)	横	1		タイトル	○	○	○	○	−	−
		横	2		タイトル コメント						
		横	3		タイトル コメント1 コメント2						
		横	4		タイトル1 タイトル2 コメント						
	CD-R背(11.4cm)	横	(なし)		タイトル	−	−	−	−	○	○
期限日(7種類)	賞味(自動)	横	(なし)		ようと ひづけ	○	○	○	○	−	−
	消費(自動)	横			ようと ひづけ	○	○	○	○	−	−
	開封日(自動)	横			ようと ひづけ	○	○	○	○	−	−
	調理日(自動)	横			ようと ひづけ	○	○	○	○	−	−
	冷凍日(自動)	横			ようと ひづけ	○	○	○	○	−	−
	開始日(自動)	横			ようと ひづけ	○	○	○	○	−	−
	交換日(自動)	横			ようと ひづけ	○	○	○	○	−	−

名前シールフォーマット一覧

※3.5mm/6mm幅テープカートリッジはお使いになれません。

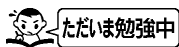
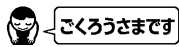
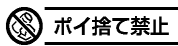
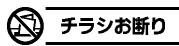
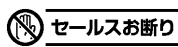
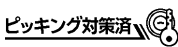
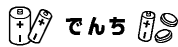
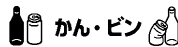
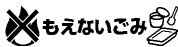
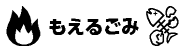
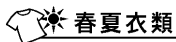
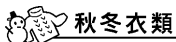
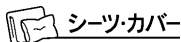
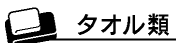
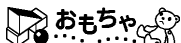
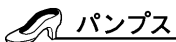
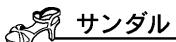
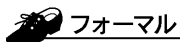
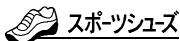
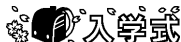
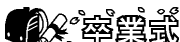
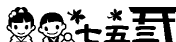
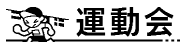
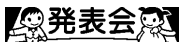
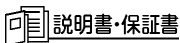
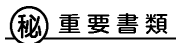
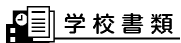
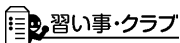
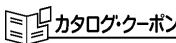
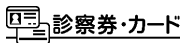
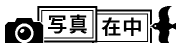
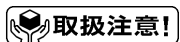
用途	規格	方向	種類	番号	フォーマット	入力項目	印刷可能テープ幅					
							24	18	12	9	6	3.5
えんぴつ巻き(2種類)	えんぴつ巻き (4.2cm:1行) (4.5cm:2行)	横	1行	1		なまえ	○	○	–	–	–	–
		横	2行	2		なまえ1 なまえ2						
小物用(4種類)	小物用 (自動)	横	2枚	1		なまえ	○	○	○	○	–	–
		横	4枚	2		なまえ						
		横	6枚	3		なまえ						
		横	8枚	4		なまえ						
ノート大(6種類)	基本 (8.0cm) ※1	横	1行	1		なまえ	○	○	○	○	–	–
		横	2行	2		ねん・くみ なまえ						
	フレーム付 (8.0cm) ※1	横	1行	3		なまえ						
		横	2行	4		ねん・くみ なまえ						
	絵文字付 (8.0cm) ※1	横	1行	5		ぶんるい なまえ						
		横	2行	6		ぶんるい ねん・くみ なまえ						

※1　先頭の余白を切ったときの出来上がりの長さになります。

用途	規格	方向	種類	番号	フォーマット	入力項目	印刷可能テープ幅					
							24	18	12	9	6	3.5
ノート小(6種類)	基本 (6.0cm) ※1	横	1行	1		なまえ	○	○	○	○	−	−
		横	2行	2		ねん・くみ なまえ						
	フレーム付 (6.0cm) ※1	横	1行	3		なまえ						
		横	2行	4		ねん・くみ なまえ						
	絵文字付 (6.0cm) ※1	横	1行	5		ぶんるい なまえ						
		横	2行	6		ぶんるい ねん・くみ なまえ						
住所(6種類)	基本 (8.0cm) ※1	横	2行	1		じゅうしょ なまえ	○	○	○	○※2	−	−
		横	3行	2		じゅうしょ1 じゅうしょ2 なまえ						
	フレーム付 (8.0cm) ※1	横	2行	3		じゅうしょ なまえ						
		横	3行	4		じゅうしょ1 じゅうしょ2 なまえ						
	絵文字付 (8.0cm) ※1	横	2行	5		ぶんるい じゅうしょ なまえ						
		横	3行	6		ぶんるい じゅうしょ1 じゅうしょ2 なまえ						

※2 「住所」の「フレーム付」「3行」のフォーマットでは、9mmのテープカートリッジは使用できません。

デザインロゴ一覧

●よびかけ・部屋

●防犯・注意

●分別・回覧

●収納・くつ箱

●タイトル・アルバム

●書類・郵便

仕様

形式　:KL-H50

入力

入力方法　:ローマ字入力、かな入力
変換方式　:熟語変換・単漢字変換

辞書

内蔵辞書数 :熟語変換　約88,000語
単漢字変換　約13,000語

文字種

5,028文字
漢字:4,166文字(JIS第1水準:2,965文字／JIS第2水準:1,201文字)
ひらがな:83文字／カタカナ:86文字／数字:10文字／
アルファベット:52文字／記号:187文字／絵文字:444文字

表示

液晶表示　:95×32ドット
入力部分　:6桁×1行

印刷

印字密度　:200dpi
印刷方式　:熱転写方式
印字速度　:約6mm/秒
印字幅　:最大約12mm
a)2mm(テープ幅 3.5mm)　b)4mm(テープ幅 6mm)
c)7mm(テープ幅 9mm)　d)10mm(テープ幅 12mm)
e)12mm(テープ幅 18/24mm)
文字構成　:ビットマップフォント
書　体　:和文(丸ゴシック体／明朝体)
かな・英数(丸ゴシック体／明朝体／メロディ／プロデュース)
印刷方向　:横書き・縦書き・裏書き
印刷文字体 :標準・太字・白抜・影付・立体
文字修飾　:網掛・下線・枠付
印字行数　:3.5mm幅テープ使用時　1行印刷可能
6mm幅テープ使用時　1〜2行印刷可能
9/12/18/24mm幅テープ使用時　1〜3行印刷可能

内部記憶

文字編集用の記憶　：1件（フリーラベルのみ：80文字）
文字登録用の記憶　：4件（フリーラベルのみ：1件につき80文字）
単漢字変換学習　　：10語

登録

テキストエリア一括登録　：4件

電源・その他

動作用電源：単3形アルカリ乾電池×6本
ACアダプター（AD-A95100L・別売）（家庭用100V電源使用）
※ACアダプターは「AD-A95100IJ」も使用することができます。
消費電力　：9W
オートパワーオフ　：約6分
大きさ　：幅167mm×奥行223mm×高さ52.5mm（足含む）
質量　：約760g（乾電池含む）
使用温度　：10℃～35℃

別売品について

別売品のテープカートリッジについては、付属の「別売品カタログ」をご覧ください。また、別売品のテープカートリッジの最新情報やネームランド新製品情報については、以下のURL をご確認ください。

http://casio.jp/d-stationery/

- 専用ACアダプター
  AD-A95100L
  ※AD-A95100IJも使用することができます。
- クリーニングテープ
  XR-24CLE
  長期間ご使用になると、プリンターヘッドにホコリがたまることがあります。クリーニングテープを使えば、そのホコリ等を取り除くことができ、きれいな文字を印刷できます。

※品切れの際はご容赦ください。
※別売品については一部予告なしに変更となる可能性があります。

索引

アルファベット･数字

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

や行

ら行

わ行

保証・アフターサービスについて

■ 保証書はよくお読みください

保証書は必ず 「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

■ 保証期間は保証書に記載されています。

■ 修理を依頼されるときは

まず、もう一度、取扱説明書に従って正しく操作していただき、直らないときには次の処置をしてください。

● 保証期間中は

保証書の規定に従ってお買い上げの販売店または取扱説明書等に記載のカシオテクノ修理相談窓口が修理をさせていただきます。

- 保証書に「持込修理」と記載されているものは、製品に保証書を添えてご持参またはご送付ください。
- 保証書に「出張修理」と記載されているものは、お買い上げの販売店または取扱説明書等に記載のカシオテクノ修理相談窓口までご連絡ください。

● 保証期間が過ぎているときは

お買い上げの販売店または取扱説明書等に記載のカシオテクノ修理相談窓口までご連絡ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

■ あらかじめご了承いただきたいこと

● 「修理のとき一部代替部品を使わせていただくこと」や「修理が困難な場合には、修理せず同等品と交換させていただくこと」があります。

また、特別注文された製品の修理では、ケースなどをカシオ純正部品と交換させていただくことがあります。

● 修理のとき、交換した部品を再生、再利用する場合があります。修理受付時に特段のお申し出がない限り、交換した部品は弊社にて引き取らせていただきます。

● 修理のとき、故障原因の解析のため、データや画像を確認させていただくことがあります。

● 日本国内向けの製品は海外での修理受付ができません。修理品は日本まで移動の上、日本国内のカシオテクノ修理相談窓口にご依頼ください。

■ アフターサービスなどについておわかりにならないときは

お買い上げの販売店または取扱説明書等に記載のカシオテクノ修理相談窓口にお問い合わせください。

お客様ご相談窓口

機能・操作・購入先等のご相談窓口 ⇨ カシオお客様相談室

■ 製品の機能、操作、購入先等に関するご質問に、お電話でお答えいたします。

市内通話料でOK ナビダイヤル®
0570-088901 市内通話料金のみでご利用いただけます。
受付時間　月曜日～土曜日 AM9:00～PM5:30（日・祝日・弊社指定休業日は除く）
携帯電話・PHS・IP電話等をご利用の場合は、03-5334-4828へお掛けください。

修理のご相談窓口 ⇨ カシオテクノ修理相談窓口

修理品のお持ち込みはできません。ご送付のみの受付となります。
修理品をお持ち込みいただく場合は、カシオテクノ・サービスステーションをご利用ください。
※ご送付される場合の送料および諸掛りはお客様のご負担となります。

東日本リペアセンター（北海道・東北・関東・信越）
市内通話料でOK ナビダイヤル®
0570-004161 市内通話料金のみでご利用いただけます。
〒208-0023 東京都武蔵村山市伊奈平3-28-2（携帯電話・PHS・IP電話等をご利用の場合 TEL.042-560-4161）

東海リペアセンター（北陸・東海・近畿）
市内通話料でOK ナビダイヤル®
0570-090109 市内通話料金のみでご利用いただけます。
〒418-0034 静岡県富士宮市黒田335-1（携帯電話・PHS・IP電話等をご利用の場合 TEL.0544-27-0109）

中四国コンシューマサービスステーション（中国・四国）
TEL.082-230-5900
〒736-0068 広島県安芸郡海田町新町10-13

九州コンシューマサービスステーション（九州）
TEL.092-411-2939
〒812-0007 福岡県福岡市博多区東比恵2-16-23カシオ福岡ビル2F

受付時間：月曜日～土曜日　AM9:00～PM6:30（日・祝日・弊社指定休業日は除く）

カシオテクノ・サービスステーション

修理品の「お持ち込み」を受け付けております（お買い上げの販売店へのお持ち込みも可能です）。
カシオ製品のアフターサービス業務は、カシオテクノ株式会社が担当いたします。

北海道
札　幌　☎011－281－1231
〒060－0063 札幌市中央区南3条西10－1001－5

東　北
仙　台　☎022－256－8822
〒983－0852 仙台市宮城野区榴岡5－1－35

盛　岡　☎019－646－3395
〒020－0122 盛岡市みたけ6－15－5

関　東
宇都宮　☎028－623－5588
〒320－0053 宇都宮市戸祭町3009－8

水　戸　☎029－228－3155
〒310－0021 水戸市南町3－4－14

高　崎　☎027－322－9555
〒370－0831 高崎市あら町67－1

埼　玉　☎048－250－2660
〒332－8521 川口市栄町3－1－8

千　葉　☎043－243－1087
〒260－0022 千葉市中央区神明町13－4

秋葉原　☎03－5820－9871
〒101－0025 千代田区神田佐久間町2－23

多　摩　☎042－540－4880
〒190－0012 立川市曙町1－11－9

横　浜　☎045－680－1230
〒231－0062 横浜市中区桜木町1－1－8

信　越
新　潟　☎025－287－1151
〒950－0925 新潟市中央区弁天橋通3－9－12

長　野　☎026－222－3250
〒380－0912 長野市大字稲葉字日詰1592－1

北　陸
金　沢　☎076－224－0061
〒920－0027 金沢市駅西新町2－1－35

東　海
静　岡　☎054－281－8085
〒422－8056 静岡市駿河区津島町16－23

名古屋　☎052－324－2151
〒460－0024 名古屋市中区正木3－9－27

近　畿
京　都　☎075－351－1161
〒600－8107 京都市下京区五条通新町東入ル東錺屋町186

大　阪　☎06－6243－6211
〒541－0056 大阪市中央区久太郎町3－6－8

神　戸　☎078－392－2145
〒650－0033 神戸市中央区江戸町85－1

中　国
岡　山　☎086－244－3404
〒700－0926 岡山市西古松西町9－1

広　島　☎082－230－5900
〒733－0001 広島市西区大芝2－14－10

四　国
高　松　☎087－837－7641
〒760－0078 高松市今里町2－21

九　州
福　岡　☎092－411－2939
〒812－0007 福岡市博多区東比恵2－16－23

熊　本　☎096－340－8283
〒861－8028 熊本市新南部4－7－38

鹿児島　☎099－256－3573
〒890－0065 鹿児島市郡元1－1－3

※住所・電話番号などは変更になることがあります。あらかじめご了承ください。

保証規定

1. 保証期間内に取扱説明書に従った正常な使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
2. 修理の必要が生じた場合は、製品と本書をお買い上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションまで、ご持参いただくか、カシオテクノ修理相談窓口までご送付ください。日本国内向けの製品は海外での修理受付ができません。
3. 修理品のご持参、お持ち帰りの交通費、またご送付される場合の送料および諸掛りはお客様のご負担となります。なお、ご送付の場合は適切な梱包の上、紛失防止のため受け渡しの確認できる手段(簡易書留や宅配など)をご利用ください。
4. 保証期間内でも次の場合は有料修理となります。
   イ. お買い上げ後の輸送、移動時のお取り扱いが不適当なため生じた故障・損傷
   ロ. 誤用、乱用および取り扱い不注意、落下、水没、水かぶりなどによる故障・損傷(表示画面付きの製品では、画面のガラス割れなど)
   ハ. 不当な修理または改造による故障・損傷
   ニ. 電池の液漏れなどによる故障・損傷
   ホ. 火災、地震、水害、その他の天災地変および異常電圧による故障・損傷
   へ. 消耗品(電池など)および付属品のお取り替えの場合
   ト. 本書の提示がない場合および本書にお買い上げ日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
7. 修理内容などの記録は修理伝票にかえさせていただきます。

・ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口にお問い合わせください。

カシオ保証書

持込修理

This warranty is valid only in Japan.

（この保証書は日本国内のみにて有効です）

本書は、本書記載内容により無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から下記期間中に万一故障が発生した場合は、本書を提示の上、お買い上げの販売店またはカシオテクノ修理相談窓口に修理をご依頼ください。

★ご販売店様へ

この保証書はお客様へのアフターサービスの実施と責任を明確にするものです。贈答品、記念品の場合も含めて必ず記入捺印してお客様にお渡しください。

品名	ラベルライター	機種名	KL-H50
保証対象	本体		
保証期間	お買い上げ日より1年間		
	お買い上げ日：　年　月　日		
お客様	お名前　様 ご住所　〒　－ 電話　－　－		
販売店	住所・店名 電話		

カシオ計算機株式会社

〒151-8543　東京都渋谷区本町1-6-2　☎03-5334-4111（代表）

MO0808-C　Printed in China